

令和元年度 大牟田市社会福祉協議会 事業報告

令和元年度は、第3次大牟田市地域福祉計画・地域福祉実践計画の5年目にあたり、本会では、大牟田市とともに以下の3つの基本目標を定め、これをもとに3つの重点施策を掲げ事業を展開しました。

- 【基本目標1】つながりを育む人づくり
- 【基本目標2】みんなで支え合う地域づくり
- 【基本目標3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり

～重点施策～

- ①生活困窮者の支援を推進します
- ②地域包括ケアシステム（まちぐるみの支え合いの仕組みづくり）の構築を推進します
- ③多職種協働により、様々な「制度の狭間」となっている問題の解決を推進します

令和元年度は、引き続き「小地域ネットワーク活動」や「ふれあいサロン活動」をはじめ「住民参加型在宅福祉サービス」「日常生活自立支援事業」「成年後見事業」等の生活支援サービスの充実に努めてまいりました。加えて、既存の制度では対応できない福祉課題については、社会福祉法人の協働体である大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の生活困窮者レスキュー事業（一時生活支援等）で迅速に支援を行ってきました。

また、大牟田市と協働で実施する子育て支援事業（放課後児童健全育成事業、ファミリー・サポート・センター、つどいの広場等）や歴木保育所、地域・子ども食堂等についても、順調な運営をしております。新型コロナウイルス感染拡大防止により自粛が求められる中においても、学童保育所・クラブについては開所等の要請があり、児童の安心・安全確保を第一に考えて、午前中からの開所に応えてきました。

障がい福祉サービスでは“福祉有償運送事業”を開始し、利便性を提供するとともに、介護保険事業についても、安定的な運営をしていくための体制整備を行ったところです。

【令和元年度の特記すべき事項や活動の進捗】

- ① 地域福祉の推進アンケート調査の実施
地域における生活・福祉課題は多種多様であること、また次年度策定する第4次大牟田市地域福祉実践計画の参考にするために、地域福祉活動実践者に対し、“地域福祉の推進アンケート調査”に取り組んだところです。
- ② 福祉有償運送事業開始
視力障がい者を対象とした有償運送サービスで、昨年度より事業開始準備に取り掛かり、10月に事業を開始しました。
- ③ 大牟田市権利擁護センター開設へ向けた取り組み
判断能力が不十分な認知症高齢者や障がい者の日常的な金銭管理等を行う「日常生活自立支援事業」と金銭管理に加え、生活全般の支援に関する契約等の法律行為を援助する「成年後見事業」を一体的に行い、継続的に人権や財産等の権利を守るための支援を強化していくために、権利擁護センター開設を目指し取り組んできました。
- ④ 福祉バス運行事業の廃止
昭和58年より実施してきた福祉バス運行事業については、車輛の老朽化や安全性の面、さらに運転手の人材確保、維持費など様々な課題があることから、事業継続は法令面及び財政面からも困難であるとの判断に至り、令和2年3月末をもって廃止しました。

各事業の実施状況については、基本目標ごとに、次のとおり報告いたします。

**【基本目標1】つながりを育む人づくり
支え合いのあるまちづくりの担い手を育成します。**

(1) 福祉教育推進事業

① 福祉教育を推進する人材の育成

①福祉教育活動の支援

市内の中学校、企業への出前講座を実施した。障がいや高齢者に関する理解と共に、地域づくりや地域共生社会など、地域福祉の視点を入れた福祉教育を展開した。

開催日	学校・施設名	内 容
12月16日	ワンダーランド日の出店	高齢者疑似体験セットの使い方
1月21日	橋中学校	市社協について、高齢者疑似体験セットの使い方

②福祉入門講座（筑後地区福祉人材バンク受託事業）

市内の高校生向けに、「介護職に関する仕事について」の入門講座を実施した。

開催日	学校名	内 容	参加人員
6月18日	ありあけ新世高校	福祉入門講座：基礎編 （講師）八女福祉会 中園紀明さん	16名
11月5日	ありあけ新世高校	福祉入門講座：応用編 （講師）八女福祉会 中園紀明さん	17名
11月13日	大牟田高校	福祉入門講座：福祉のお仕事 （講師）八女福祉会 中園紀明さん	11名

③地域を基盤とした福祉教育の展開

校区社会福祉協議会が実施する学校教育における地域福祉活動の学習を支援した。

中友校区 子ども民生委員	委嘱式、訪問活動、赤い羽根街頭募金活動
白川校区 ジュニア民生委員	委嘱式、赤い羽根街頭募金活動



中友校区 子ども民生委員



白川校区 ジュニア民生委員

② 福祉教材の貸出

福祉への関心や理解を高める教育活動において活用できる福祉教材（高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、アイマスク、DVD等）を貸出した。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
貸出件数	15件	30件	17件	27件	18件

③ 福祉教育のコーディネート

学校等における福祉教育活動で、高齢者疑似体験や障がいの特性について学ぶため、大牟田市視力障害者福祉協会、大牟田聴覚障害者福祉協会、大牟田手話の会「ありあけ」の協力を得て、講師（ゲストティーチャー）を派遣した。また、点字教室では、点訳奉仕「大牟田むつき会」の協力を得た。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
派遣件数	18件	25件	17件	15件	15件



聴覚障がいの方の講話の様子



高齢者疑似体験研修の様子



出前講座の様子

(2) ボランティアセンター機能充実事業

① 情報の収集・発信・提供

福祉やボランティアに関する情報を収集し、広報紙やWEBサイト・掲示版などでボランティア活動に関する情報を提供した。特に8月の佐賀県豪雨災害に際しては総合福祉センター内に各災害ボランティアセンターの設置状況やボランティアニーズ情報を掲載し、日々変わるニーズ情報の発信・提供を行った。また、ボランティア活動を必要とする人とボランティア活動を行いたい人をつなぐために、ボランティアセンター登録団体名簿を作成し、ニーズに応じた情報を提供した。

② ボランティア活動の相談・調整・支援

① ボランティア活動のコーディネート

ボランティア活動を行いたい人やボランティア活動を必要とする人からの相談を受け、164件のボランティア活動をコーディネートした。

【ボランティア活動コーディネート内訳】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 施設慰問（マジック・舞踊等） 75件 | (2) イベントボランティア 28件 |
| (3) 災害ボランティア 22件 | (4) サロン活動出前講座 21件 |
| (5) 家屋修繕・剪定 7件 | (6) 同行援護・傾聴ボランティア他 11件 |

② 登録ボランティアの支援

ボランティア活動への参加を促進するために、ボランティアグループの結成・運営などに関する相談や活動に必要な器材の貸出、各種助成金申請等を支援した。

※令和元年度登録ボランティア数（グループ：45団体、個人：59名）

③ ボランティア活動保険加入の支援

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
加入人数	1,073名	1,736名	1,446名	1,142名	1,252名

※うち、大規模災害特例による加入受付 24件（45名）

【行事用保険の加入受付】

区 分	R元年度
ボランティア行事用保険の加入受付	229件（14,524名）
サロン・社協行事用保険の加入受付	63件（11,766名）

④おもちゃ図書館「くるりん」の支援

「おもちゃ図書館」は、障がいのある子もいない子とともに、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、お互いに成長しあう場である。子ども達がおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供する活動と、保護者が悩みを共有したり、交流する場である「ほっとタイム」の活動を支援した。また、夏のデイキャンプやクリスマスおでん会、交通安全教室などのイベント支援も行った。さらに、「くるりん」の活動周知やボランティア活動希望者への活動マッチングにより「くるりん」のボランティア活動の輪が広がった。

(単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
A	5	6	9	14	8	8	10	9	17	13	13	12	124
B	3	4	6	11	5	7	7	6	14	8	9	8	88
C	8	7	10	9	14	10	8	8	10	10	14	10	118

A：子どもの参加人数、B：保護者の参加人数、C：ボランティアの参加人数

⑤世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間イベントの支援

世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間に合わせ、大牟田市自閉症児者親の会が取り組んだイベントを支援した。

実施期間	4月2日～4月8日
実施場所	大牟田市役所前広場、玄関ロビー
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「癒やし」や「希望」などを表す青色でライトアップする「ライト・イット・アップ・ブルー」の点灯 ■見てほしい ぼくのわたしの作品展（当事者が作った作品・写真）



市庁舎前広場ライトアップの様子

⑥企業におけるボランティア体験学習の受入れ

昨年に引き続き、三井金属鉱業株式会社三池事務所の新入社員研修の一環として、ボランティア体験学習を受け入れた。

開催日	4月4日
場 所	総合福祉センター、瓦町サロン、サン・アビリティーズおおむた
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 【座学】社協の取り組む事業やボランティア活動について 【体験実習】 ①ふれあいサロン活動体験 ②サウンド・テーブル・テニス体験
参加人数	11名（引率者3名）

**【基本目標2】みんなで支え合う地域づくり
人と人とのつながりを深め 地域の支え合い活動を推進します。**

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

経済的困窮、社会的孤立、ひきこもり、虐待、権利擁護等の福祉課題・生活課題が、地域で早期に発見され、地域を基盤にした解決が可能な支援ネットワークとなることをめざして、以下のことに取り組んだ。

① 福祉委員の委嘱及び研修

今年度は福祉委員（第7期：平成30年7月1日～令和2年6月30日）の任期途中であったが、委員の交代や追加に伴い、新任福祉委員の委嘱を行った。

①福祉委員の配置数 362名（新任福祉委員数 29名）

配置数	第5期	第6期	第7期
福祉委員配置数	367名	354名	362名
充足率(%)	98%	95%	99%

②新任福祉委員研修会の実施

開催日	場 所	参加者数	実践報告者
7月5日	大会議室	6名	帆土 知子さん（手鎌）
7月6日	大会議室	12名	南谷 みや子さん（倉永）

※個別対応 11名



② 校区福祉座談会・研修会等への参画

開催日	主 要 内 容	人数
5月20日	手鎌校区社協役員会議 「地域支え合いマップ活用について」	9名
5月24日	駿馬校区福祉座談会 「地域福祉の充実を目指して」	21名
7月6日	手鎌校区合同研修会 「地域支え合いマップの見直し」	57名
7月26日	吉野校区合同研修会 「市社協の生活支援の取り組みについて」	37名
8月21日	中友校区福祉委員・民生委員合同研修会 「市社協の災害支援について」	22名
8月30日	玉川校区合同研修会 「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会について」	14名
9月18日	明治校区福祉委員研修 「生活支援相談室について」	27名
9月28日	倉永校区合同研修会 「倉永校区の福祉活動について」	25名
2月7日	手鎌校区合同研修会 「生活支援相談室・学習支援事業について」	60名



③ 地域包括支援センターとの連携

各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターや共創サポーターと連携し、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域住民等による生活支援活動をより充実させるために、以下のことに取り組んだ。

①生活支援コーディネーター会議への出席

開催日	主な内容
4月24日	・各校区における取り組み報告
5月24日	・生活支援コーディネーターと共創サポーターについて ・各校区における取り組み報告
6月21日	・各校区における取り組み報告 ・地域資源マップ（配食リスト）について ・福岡県生活支援コーディネーター連絡会開催について
7月26日	・各校区における取り組み報告 ・ヒアリングの共有について
8月19日	・各校区における取り組み報告 ・地域支援事業の関わりについて
9月27日	・各校区における取り組み報告 ・報告書の様式について
10月25日	・各校区における取り組み報告 ・地域資源マップについて
11月22日	・各校区における取り組み報告 ・地域資源マップについて
12月27日	・各校区における取り組み報告 ・地域資源マップについて
1月31日	・各校区における取り組み報告 ・福岡県生活支援コーディネーター連絡会議報告 ・第2回サロン連絡会について ・地域資源マップについて
2月13日	・各校区における取り組み報告 ・実践型地域づくり支援プログラム成果報告会報告 ・地域資源マップについて ・地域交流施設連絡会について
3月19日	・各校区における取り組み報告

②生活支援コーディネーター及び共創サポーターとの連携・協働

時期（回数）	会議名	内容
4月～2月 （10回）	玉川校区移動手段 検討会議	玉川校区における交通手段の確保について校区まち協会長、校区民児協会長、第1層及び第2層生活支援コーディネーター、共創サポーターの会議に参加

(2) 地域組織活動促進事業

① 校区社会福祉協議会との連携・協働による地域福祉力の向上

①小地域ネットワーク活動の支援（別掲 P5～6）

②子ども・地域食堂の取り組み（別掲 P29）

② 地域福祉の推進アンケート調査の実施

校区社会福祉協議会会長連絡協議会（以下、「校区社協会長会」という。）と協働して各校区社協構成員（地域活動実践者等）を主な対象として地域福祉力アンケート調査を全校区で実施し、大牟田市健康福祉総合計画・第4次地域福祉実践計画策定に向けた基礎データを収集した。

※有効回答数（率） 807名（83.5%）

③ 校区社協会長会との連携・協働による各種研修等の実施

校区社協会長会が主体となって取り組む地域福祉活動を事務局として支援した。

今年度は、校区社協会長会の基本目標として、「みんなで支え合う地域づくり」を掲げ、地域リーダー合同研修会をはじめ、サロン連絡会や各種研修会など協働して開催した。さらには、大牟田市地域福祉大会の開催にあたっては、実行委員会に参画いただき、内容について企画立案を行った。

①役員会・会長会開催の支援

会議名	開催日	主な内容
第1回 役員会 会長会	平成31年 3月25日 4月8日	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度 校区社協会長会事業計画（案） 平成31年度 校区社協会長会収支予算（案） 平成30年度 校区社協会長会事業報告 平成30年度 校区社協会長会収支決算 平成30年度 監査報告
第2回 役員会 会長会	5月27日 6月10日	<ul style="list-style-type: none"> 校区社協会長会研修会について
第3回 役員会 会長会	7月22日 8月5日	<ul style="list-style-type: none"> 大牟田市健康福祉推進会議委員の推薦について 地域福祉の推進にかかるアンケート調査について
第4回 役員会 会長会	9月24日 10月15日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 優良校区社協の推薦について 令和元年度 地域リーダー合同研修会について
第5回 役員会 会長会	11月25日 12月9日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 校区社協会長会視察研修について
第6回 役員会 会長会	1月27日 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 校区社協会長会事業報告（案） 令和2年度 校区社協会長会事業計画（案） 大牟田市社会福祉協議会の評議員候補者の推薦について
第7回 役員会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 校区社協会長会事業報告（案） 令和元年度 校区社協会長会収支決算（案） 令和元年度 監査要領（案） 令和2年度 校区社協会長会事業計画（案） 令和2年度 校区社協会長会収支予算（案）

② 研修部会との共同による研修の企画・実施

校区社協会長研修会や地域リーダー合同研修会の内容について、校区社協会長会研修部会と協議し、協力して実施した。

研修会の実施		
6月 5日	新任校区社協会長研修	
7月5・6日	新任福祉委員研修会	
8月 5日	校区社協会長会研修会 「ひきこもり支援について」 講師：うきは市社会福祉協議会 権藤俊介さん	
9月 1日	大牟田市総合防災訓練 防災イベント「災害時のトイレ事情とは」 講師：防災士 彌永恵理さん（つなぎ te おおむた）	
1月23日	令和元年度 地域リーダー合同研修会	※別掲 P13
2月 9日	第11回 大牟田市地域福祉大会	※別掲 P12



新任校区社協会長研修



校区社協会長会研修会

③ 広報部会との共同による地域福祉活動に関する情報発信

福祉だより「きらり」、事務局通信「きらり」を活用して校区社協会長会だより「つながり」の発行を支援した。

校区社協会長連絡協議会だより「つながり」の発行	
7/15日・夏号	校区社協会長紹介
1/15日・冬号	福岡県社会福祉大会（優良校区表彰：天領校区）
市社協事務局通信での「つながり」の発行	
12月号	校区社協の取り組み紹介（吉野校区）

(3) ふれあいサロン活動支援事業

① サロン活動への支援

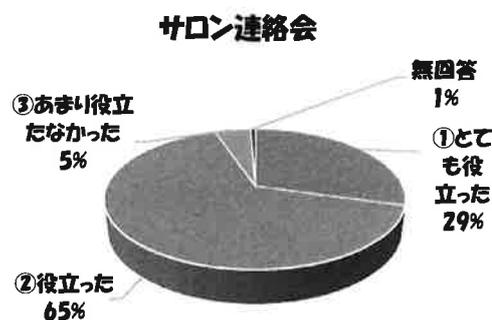
ふれあいサロンは、“仲間づくり”“生きがいづくり”を目的とした地域の憩いの場である。各サロン活動拠点には助成金を交付するとともに、今年度は新たに9カ所の立ち上げ支援を行う一方で、8カ所が休止・廃止となった。

令和2年3月末で、ふれあいサロン活動拠点は134カ所となった。

② サロン連絡会の開催

サロン活動の活性化のために、情報の共有や実践の紹介、サロン間の交流を目的として連絡会を開催した。

サロン連絡会	
開催日	9月12日(3回/日)
場所	イオンモール大牟田 イオンホール
主な内容	ヤクルト健康講座 「健康から学ぼう!～サロンでできる食育講座～」
実践紹介	久留米ヤクルト販売株式会社
参加人数	193名(各サロン2名、校区社協会長、生活支援コーディネーター)



③ レクリエーション用具の貸出

サロン活動の内容充実のため、各登録サロンに対し、用具一覧表の配布を行い、計22種類のレクリエーション用具の貸出を行った。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
貸出件数	20件	52件	83件	68件	62件

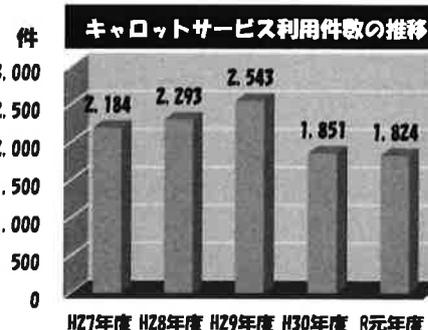
【貸出レクリエーション用具一覧】

① スキヤキ・ジャンケン	⑫ わなげ
② 唱歌かるた	⑬ スポーツ吹き矢
③ 開運お手玉ボード	⑭ コミュニケーション麻雀
④ 羽根っこゲーム干支セトラ	⑮ ボールボードゲーム
⑤ 将棋(小)	⑯ 友・遊ボウリング
⑥ 囲碁(小)	⑰ スカットボールⅡ
⑦ 神戸ミニヤード	⑱ ゲームレール
⑧ たいこ相撲	⑲ ニチレクボール(ペタンク)
⑨ スマイル射的	⑳ お手玉リズム体操&陣取りマット
⑩ 釣りっこ	㉑ グランドゴルフセット
⑪ 台風ドカン	㉒ スティックリング

(4) 住民参加型在宅福祉サービス提供体制充実事業

① おおむたキャロットサービス会員の登録及びコーディネート

日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。今年度の実績は、協力会員の増加はあったが、利用会員の減少やサービス内容の見直し等により活動件数は若干減少した。



①会員の登録

区分	H30年度 登録者数	R元年度登録者数			前年度比	
		新規登録者数	退会者数	計		
利用会員	139名	36名	59名	116名	23名減	83%
協力会員	43名	9名	4名	48名	5名増	112%
合計	182名	45名	63名	164名	18名減	90%

②活動の種類・件数

(件)

家事支援			薬 受取	通院 外出 付添	見守 り	話し 相手	草 とり	ゴミ 出し	その他		
掃除 洗濯	食事 作り	買物							修繕な ど	その他	産前 産後
1100	92	329	14	106	0	27	55	30	10	61	0

②協力会員の養成講座・交流研修の実施

①おおむたキャロットサービス協力会員養成講座の実施

キャロットサービスへの様々な依頼に対応するために、協力会員の養成に取り組んだ。今年度も昨年度同様、キャロットサービス協力会員だけでなく、同じボランティア精神に支えられた日常生活自立支援事業の生活支援員とファミリー・サポート・センターの協力会員の養成を「市民サポーター養成講座」として行った。講座の内容は、基礎講座・実践講座の2種類を設定し、受講者は全員基礎講座を受講した後に、事業ごとの実践講座を選択して、希望する市民サポーターとしてボランティア活動の幅を広げてもらうことを目的に実施した。

キャロットサービス協力会員としては9名の登録があったが、他のサポーターへも登録いただいたところである。今後も講座の内容やあり方等を検討しながら、市民の方々が興味を持ち、参加しやすい講座を実施していくこととしたい。

市民サポーター養成講座（基礎講座）		
開催日	主な内容	人数
8月20日	第1回「社協概要説明・各事業紹介」 講師：大牟田市社会福祉協議会職員	12名
8月22日	第2回「ボランティアについて」 講師：筑紫女学園大学 人間科学部 教授 山崎安則さん	14名

市民サポーター養成講座（実践講座）		
開催日	主な内容	人数
8月27日	第1回「傾聴を学ぶ」 講師：再評価カウンセリング 九州エリア代表 宮崎由紀子さん	12名
8月29日	第2回「子どもの体の発達と病気」 講師：坂西内科医院 坂西信平さん	9名
9月3日	第3回「子どもについて」 講師：くぬぎ保育所主任保育士	9名
9月5日	第4回「高齢者・障がい者について」 講師：大牟田市社会福祉協議会職員	9名
9月10日	第5回「子どもに起こりやすい事故と予防」 講師：日本赤十字社幼児安全法指導員	7名
9月12日	第6回「イザという時あわてないために」 ～心肺蘇生法とAEDの使い方～ 講師：日本赤十字社救急法指導員	12名
9月17日	最終回「一歩ふみだそう」～実践者の声を聞いてみよう～ 講師：各事業の市民サポーター	12名

② 協会員交流研修会の実施

協会員同士の親睦・連携を深め、活動の充実を図ることを目的として年2回実施した。

今年度は、活動時に役立つ内容を中心に研修を行った。さらに、グループワークを行うことで、キャロットサービスの意義を再確認しながら、活動への思いを共有し、意欲を高めることができた。



協会員交流研修会の様子

開催日	第1回：6月28日 第2回：11月29日
場所	総合福祉センター 2階 大会議室
主な内容	第1回：研修「買物・外出支援の際に気をつけること」 第2回：研修「交通安全・運転マナーについて」
講師	第1回：福祉サービス担当職員 第2回：大牟田警察署交通総務課 古川誠一さん
参加人数	第1回：17名 第2回：19名

(5) 協働型災害支援体制強化事業

① 災害ボランティア活動の促進

8月の佐賀県豪雨災害等のボランティア活動支援のために45名(24件)に対し、大規模災害特例での災害ボランティア保険加入や情報提供等の支援を行った。

② 大牟田市総合防災訓練における「防災イベント」の実施

開催日	9月1日
場所	イオンモール大牟田 イオンホール
主な内容	「災害時のトイレ事情とは…」 座学：「もしもに備えるいつも ～災害時のトイレ事情～」 体験：「簡易トイレ作成体験」
講師	防災士 彌永恵理さん(つなぎte おおむた)
参加人数	91名



防災イベントの様子

③ 災害時地域支え合いマップ作成の支援

地域支え合いマップが、災害時にも機能するような作成支援を行った。これにより、新たな要支援者の情報共有ができ、支援方法や避難時のルール設定などを確認することができた。

④ 佐賀県豪雨災害に伴う現地災害ボランティアセンターへの職員派遣

8月の佐賀県豪雨災害支援活動のため、災害ボランティアセンター立ち上げ及び運営支援として以下のとおり職員を派遣した。

派遣期間	派遣先	人数
9月6日～9月10日	多久市災害ボランティアセンター	1名
10月8日～10月12日	武雄市災害ボランティアセンター	1名

⑤ 災害義援金の募集(別掲P15)

(6) 地域支え合い活動の推進事業

- ① 第11回大牟田市地域福祉大会～地域支え合い“絆”セミナー～の開催
 市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」を創造することを目的に開催した。

開催日	2月9日
場所	大牟田文化会館 小ホール
内容	<p>【第1部】 地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対する表彰状の授与を行うことでその功績を称えた。</p> <p>■大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰 (表彰の部) <input type="checkbox"/> 校区社協実践活動者(9名) <input type="checkbox"/> 優良校区社協(大正校区) <input type="checkbox"/> ボランティア活動者・団体(1名・1団体)</p> <p>(感謝の部) <input type="checkbox"/> 市社協役員(1名) <input type="checkbox"/> 校区社協実践活動者(40名) <input type="checkbox"/> ボランティア活動団体(1団体) <input type="checkbox"/> 善意銀行高額寄付者・団体(3名・3団体) <input type="checkbox"/> 特別功労団体(1団体)</p> <p>■共同募金高額寄付者・団体表彰 <input type="checkbox"/> 福岡県共同募金会会長表彰(3団体) <input type="checkbox"/> 赤い羽根共同募金高額寄付者・団体(1名・15団体) <input type="checkbox"/> 歳末たすけあい募金高額寄付団体(3団体)</p>
	<p>【第2部】基調講演 「ひきこもり支援の現状と これからの支援の在り方について」 [講師] 市民の会 エスポワール京都 主宰 山田 孝明さん</p> <p>【第3部】シンポジウム 「私たちにとっての8050問題」 [コーディネーター] 市民の会 エスポワール京都 主宰 山田 孝明さん [パネリスト] ①大牟田学校に行かない子を持つ親の会「ふきのとう」 代表 中西 朋美さん ②ちくご地域ユースサポート 代表 下川 展弘さん ③大牟田市社会福祉協議会 生活支援相談室 前田 佳宏</p>
参加者	約500名



② 令和元年度 地域リーダー合同研修会の開催

校区社協会長会、校区民生委員・児童委員協議会、校区コミュニティ連絡協議会、校区町内公民館連絡協議会の各会長と協働し、地域リーダー合同研修会を実施した。本市において、民生委員・児童委員、町内公民館役員、福祉委員等の地域福祉活動者の新たな担い手が少ないというアンケート調査結果も出ており、また、ふれあいサロンの世話人の高齢化に伴い、活動が続けられないという現状もある。本研修で、次世代の地域福祉活動者の育成に主眼を置いた多世代多機関で取り組む地域共生社会のあり方について学び、これからの取り組みについて、意見交換を行った。

令和元年度 地域リーダー合同研修会	
テーマ：「次世代の地域福祉活動者の育成と持続可能な地域共生社会の実現」	
開催日	1月23日
場所	おおむたハイツ 芙蓉の間
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ■基調講演「これからの地域のあり方を考える ～多世代多機関を含めた共生社会の実現に向けて～」 講師：筑紫女学園大学 人間科学部 教授 山崎 安則 さん ■グループワーク・意見交換 ■まとめ
参加者	校区社協会長、民児協会長、まち協会長、連協会長、市役所職員、地域包括支援センター職員、市社協職員 等 計90名



(3) 共同基金等を活用した支え合い活動の推進事業

① 福岡県共同募金会大牟田市支会との連携

① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実績

地域福祉推進のための貴重な財源である「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。運動期間は10月1日～12月31日まで。

【赤い羽根共同募金】

(単位：円)

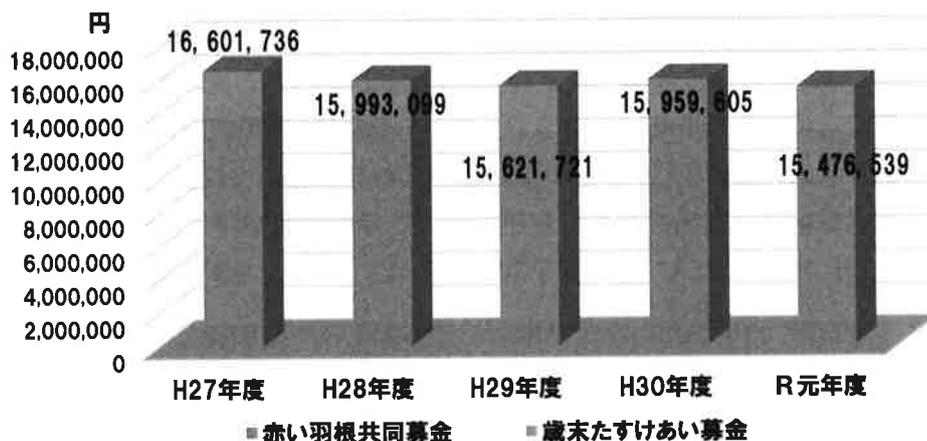
実績額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
募金額	13,796,122	13,286,793	12,869,906	13,258,412	12,901,508
前年度比	99%	96%	97%	103%	97%

【歳末たすけあい募金】

(単位：円)

実績額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
募金額	2,805,614	2,706,306	2,751,815	2,701,193	2,575,031
前年度比	94%	96%	102%	98%	95%

【共同募金実績の推移】



②街頭キャンペーン等の広報活動への参加

実施月日	実施場所	参加者
10月1日	ゆめタウン	大牟田市副市長、共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員、大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」
	イオンモール	
12月1日	ゆめタウン	大牟田市副市長、共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員
	イオンモール	

③FMたんとでの広報活動

実施月日	内容
9月19日	赤い羽根共同募金運動と用途について
11月22日	歳末たすけあい募金運動と用途について

④法人募金の実績

実績額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
法人数(社)	406	394	440	446	451
募金額(円)	2,320,956	2,203,006	2,441,803	2,570,577	2,720,381
前年度比	100%	95%	111%	105%	106%

⑤寄付つき商品のプロジェクト「募金百貨店おおむた」実績

今年度は26の企業・団体の加盟があり、募金への協力を頂いた。

実績額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
募金額(円)	318,795	160,366	166,880	150,241	120,390
前年度比	123%	50%	104%	90%	80%

⑥赤い羽根自動販売機の設置及び実績

実績額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
設置台数	51台	50台	50台	50台	49台
募金額(円)	967,393	895,088	856,232	886,666	863,588
前年度比	105%	93%	96%	104%	97%

⑦街頭募金の実施支援

【赤い羽根共同募金】

実施月日	実施場所	実施団体名
10月 1日	ミスターマックス	天の原校区社協
10月 6日	ゆめタウン	ボーイスカウト大牟田第3団
10月10日	銀座通り商店街	中友校区民児協・子ども民生委員
10月12日	ゆめタウン	大牟田市身障連
10月15日	マルシヨク吉野店ほか	吉野校区社協
10月15日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
10月16日	ゆめタウン	白川校区社協・ジュニア民生委員
10月26日	サン・アビリティーズ大牟田	サンアビまつり実行委員会
10月31日	文化会館(高齢者いきいき祭り)	大牟田市老人クラブ連合会
11月 3日	ゆめタウン	大牟田中央校区まちづくり協議会
11月 5日	マルエイ大牟田店	天の原校区社協
11月10日	銀座通り商店街	中友校区民児協
11月11日	イオンモール	大正校区民児協
11月18日	手鎌地区公民館 (文化祭会場において)	手鎌校区社協
11月19日	ゆめタウン	白川校区社協
11月23日	ダイレックス歴木店	高取校区社協
12月 4日	ゆめタウン	白川校区社協・ジュニア民生委員
12月 5日	イオンモール	大牟田高等学校
12月15日	マミーズ羽山台店	羽山台校区まちづくり協議会

【歳末たすけあい募金】

実施月日	実施場所	実施団体名
12月 7日	ゆめタウン	大牟田中央校区まちづくり協議会
12月10日	銀座通り商店街	中友校区民児協
12月14日	ゆめタウン	明光学園高等学校

⑧災害義援金の受付

受付開始日	災害名称	累計金額	累計件数
H28.4.15~	平成28年熊本地震災害	4,430,817円	112件
H30.7.5~	平成30年福岡豪雨災害	243,111円	19件
H30.9.12~	北海道胆振東部地震災害	56,061円	6件
R元.9.2~	令和元年8月佐賀県豪雨災害	3,572円	4件
R元.9.9~	京都アニメ放火事件被害者義援金	3,852円	3件
R元.9.17~	令和元年台風15号千葉県災害	4,328円	3件
R元.10.16~	令和元年台風19号災害	84,646円	5件

② 赤い羽根共同募金配分助成先（次年度）

各団体からの助成金申請を共同募金配分委員会で審査し、令和2年度事業として総額 9,323,300 円の助成先を決定した。

助成先	助成額
①福祉教育推進校（13校）	733,240円
②福祉団体・ボランティア団体・NPO団体（11団体）	1,383,000円
大牟田市社会福祉協議会地域福祉事業費	1,147,060円
19校区社会福祉協議会活動費	6,060,000円
合計	9,323,300円

①福祉教育推進校への助成（13校）

（単位：円）

No.	学校名	事業名	助成額
1	駛馬小学校	地域との連携による福祉の心を育む福祉教育事業	42,500
2	玉川小学校	体験からの学び（自然・ひと・もの・ことを大切に教育）	50,000
3	中友小学校	高齢者・園児との交流や地域と連携した福祉教育	75,000
4	白川小学校	ジュニア民生委員・児童委員活動	50,000
5	平原小学校	児童への福祉教育	40,000
6	羽山台小学校	高齢者及び障がいのある人との交流を通じた福祉の心を育む教育	42,000
7	吉野小学校	障がい者・認知症・高齢者に関する福祉教育	35,000
8	倉永小学校	地域との連携・交流を通じた福祉教育	70,000
9	手鎌小学校	郷土学習を通じた福祉教育の充実	36,000
10	橘中学校	認知症学習や保育実習、地域との交流、校内美化活動	37,000
11	白光中学校	住みよいまちづくりを考え行動することを目指す活動	50,000
12	宮原中学校	宮原地区 HAPPY プロジェクト	108,000
13	明光学園中学校・高等学校	地域の方々と女子中高生とのスマイル福祉交流活動	97,740
計			733,240

②福祉団体等への助成（11団体）

（単位：円）

No.	団体名	事業名	助成額
1	大牟田市ボランティア連絡協議会	減災に向けた研修	40,000
2	大牟田要約筆記の会 のぞみ	難聴者の交流・学習の場づくりと啓発活動	50,000
3	大牟田朗読の会	朗読・情報発信等に関する研修会	50,000
4	大牟田市老人クラブ連合会	教養事業（各種研修・会報紙発行等）	225,000
5	大牟田市身体障害者福祉協会連合会	社会参加促進事業	200,000
6	NPO法人つなぎteおおむた	市民の備災力UP講座	100,000
7	NPO法人大牟田市母子寡婦福祉会	母と子のふれあい事業	100,000
8	NPO 法人大牟田市障害者協議会	第42回ふれあいパラリンピック&サン・アピまつり	100,000
9	NPO 法人ともしび会	精神障がい者等の社会参加促進事業	189,000
10	NPO 法人大牟田知的障害者育成会	障がい者施設見学研修	229,000
11	大牟田市視力障害者福祉協会	福岡県盲人福祉大会、視力障がい者徒歩訓練	100,000
計			1,383,000

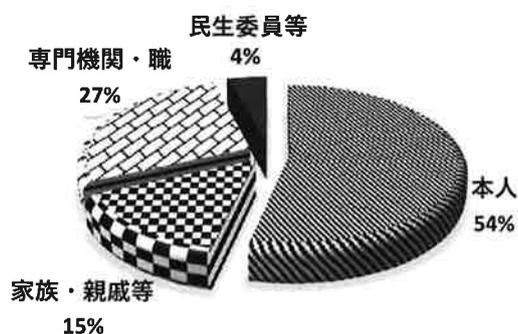
**【基本目標3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり
専門機関や住民と連携・協力し生活課題の解決を促進します。**

(1) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

① 自立相談支援事業

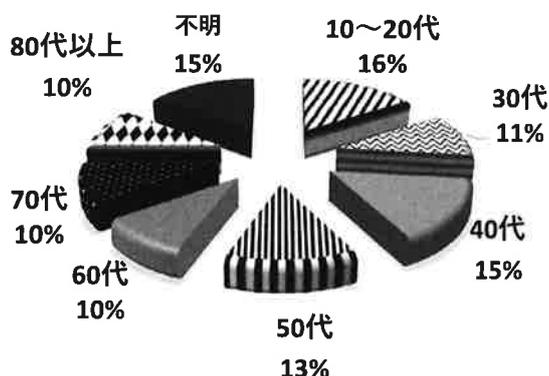
① 相談経路

新規相談件数は353件。生活保護世帯99件を加えると、年間452件の相談があり、月平均38件の相談となる。相談経路は「本人」からの直接相談（全体の53.5%）、次に「専門機関・専門職」（27.5%）、「家族・親戚・知人」（14.7%）、「民生委員」「地域住民等」（4.3%）と続いている。今年度は「依存症」「ひきこもり」「8050問題」をテーマとした研修やイベントを行ったため、家族等からの相談割合が増加している。また、DVに関する相談が増加傾向にある。さらに、3月から新型コロナウイルスの影響による収入の減少を理由とした生活相談（貸付相談）が急増した。



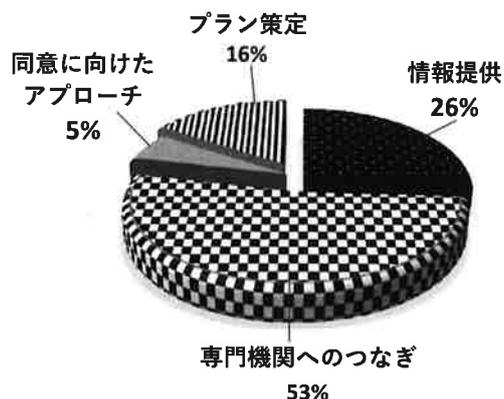
② 年代及び相談内容

年代別の割合は、前年度同様、40歳代からの相談が15.6%、50歳代からが13.6%と働くことができる年代の相談が多くなっている、その年齢層の相談は求職、多重債務、生活費の割合が高い。70歳代・80歳代からは医療・介護や生活支援の相談が多くなっている。



③ スクリーニング結果（審査・選別結果）

スクリーニング結果については、今年度も「専門機関等へのつなぎ」が相談件数の半分以上（52.7%）を占めている。また、新規プラン策定件数は56件。生活保護つなぎ等の短期の支援も多く、プランにつながる件数は少ないが、情報提供・相談対応についても他機関に対して調整や交渉をしたりする場合も多い。その際には専門機関へのつなぎと同じように同行支援等を行っている。プラン策定以外のケースについても、定期的に連絡等を取り、生活状況の確認を行っている場合が多い。



④専門機関へのつなぎ先

従来の食糧、日用品や家電などの生活物資の支援及び社会福祉法人地域公益活動協議会の生活困窮者レスキュー事業等に加え、医療機関や依存症支援機関の協力を得て、幅広い支援を実施することができ、本会で対応できるケースが増えている。

つなぎ先 ※重複有り	件数	つなぎ先 ※重複有り	件数
キャロットサービス	44件	依存症支援機関	1件
生活福祉資金	62件	地域包括支援センター	3件
生活保護制度	6件	障害者相談支援事業所	2件
食糧支援	45件	医療機関	3件
日用品等支援	2件	シェルター	1件
家電等支援	9件	ハローワーク	1件
社会福祉法人地域公益活動協議会	6件	ライフサポートセンター	3件
家計相談支援（グリーンコープ）	5件	その他	25件
合		計	
		218件	

⑤相談窓口の周知

全戸配布の社協だより「きらり」及び事務局通信「きらり」に加え、生活支援相談室 Facebook で就労体験の様子や活動状況について発信した。また若年層に対しては、相談しやすくなるようメールでの相談受付や「FM たんと」において、生活支援相談室のPRを行った。さらに、各校区社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会をはじめとする地域活動実践者の会議や研修での説明も継続して行っている。また、子どもを通じた潜在的な相談者を発見するため、子ども支援ネットワーク会議や中学校の校長会、教頭会での周知・啓発を行った。



吉野校区合同研修会の様子

⑥食糧支援の充実等

相談を受ける中で、食べるものにも困っている人が多くいることが分かり、これまでも「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」「グリーンコープ生活協同組合ふくおか」「大牟田市母子寡婦福祉会」及び「フードバンク大牟田」と連携し、食糧の提供等を行ってきた。また、食糧以外の支援等においても、「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」と連携し、ミルクや日用品の提供を実施した。さらに「カーブス大牟田」や「セブンイレブンジャパン」からの協力申し入れなどもあり、支援の輪を徐々に広げる活動を行った。（別掲 P25）

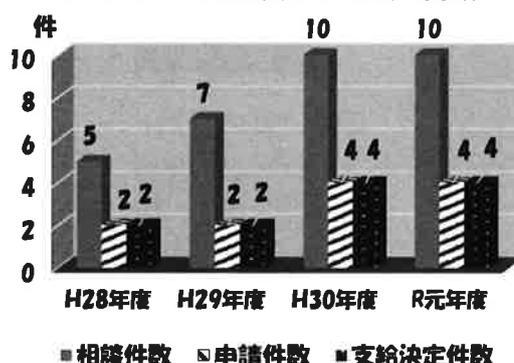
⑦専門機関との連携

依存症に関する支援のため、他機関とのプロジェクトへの参加や、依存症支援の専門機関を招き、研修会を行った。またシェルターを運営する法人や不動産会社など、住まいを支援する上で必要な機関とも連携を図っている。

② 住居確保給付金事業

住居確保給付金事業は、離職・事業の廃業等の事由で、「住居を喪失している、または、喪失するおそれのある人」を対象に、求職活動を行うなど一定の条件のもと、家賃相当額を支給する支援を行っている。

事業実施に際しては、市福祉課やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や自立相談支援における面談や必要に応じて生活福祉資金貸付事業を併用しながら支援にあたった。



③ 学習支援事業

不登校や生活困窮者世帯の中学生等を対象に、市内3カ所において、学習会を行うとともに、子どもの居場所づくりを行った。加えて、進学に関する悩み事の相談を受け、

情報提供を行った。高校に進学した生徒も受入れ、高校中退防止に努めた。また学習支援事業に参加する子どもと保護者に対し、家庭での困り事や参加しやすい場づくりのためのアンケート調査を行うとともに、より良い事業運営を行うために、学習支援ボランティアとの情報共有や意見交換会を実施した。

さらに、子どもたちが将来について考えるきっかけづくりや親睦を目的とした交流会を実施した。

学習支援年間延参加者数の推移



① 実施場所・時間 ※縁側ひらばるは、特定非営利活動法人コレクティブに委託

実施場所	実施曜日・実施時間
手鎌地区公民館	毎週木曜日 18:00~20:00 (第5木曜日を除く)
三川地区公民館	毎週木曜日 18:00~20:00 (第5木曜日を除く)
地域の縁側ひらばる	毎週土曜日 10:00~15:00

② 参加者・ボランティア状況

(令和2年3月31日現在)

参加者・ボランティア / 実施場所		手鎌地区公民館	三川地区公民館	地域の縁側ひらばる
高校生・登録者数	R元年度	3名	1名	4名
	H30年度	2名	2名	3名
中学生・登録者数	R元年度	8名	7名	11名
	H30年度	21名	7名	8名
小学生・登録者数	R元年度	3名	14名	3名
	H30年度	3名	15名	0名
年間参加者数		延410名	延502名	延230名
ボランティア数	R元年度	7名	10名	8名
	H30年度	8名	8名	9名

③学習支援ボランティア全体会議

開催日	4月22日
場所	総合福祉センター 中会議室
内容	実績報告、情報共有、今後についての意見交換、事務連絡
参加人数	ボランティア 7名、市職員 4名、社協職員 3名

④学習支援交流会

開催日	9月16日
場所	総合福祉センター 大会議室・中会議室
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「未来の仕事について探そう！」 (内容)「看護師について」 講師 山崎美香さん 「公務員について」 講師 中尾聖史さん 「警察官について」 講師 大淵照樹さん ■「子ども・地域食堂、生活支援相談室について」の講話 ■交流会・レクリエーション 職業ビンゴ、4種遊技(ゲームレール・ボールボードゲーム・わなげ・パットゴルフ)
参加人数	子ども 16名、保護者 2名、ボランティア 8名 計 26名



未来の仕事について講話の様子



レクリエーションの様子

④ 就労準備支援事業

ひきこもり等の理由ですぐに一般就労が難しいと思われる人に対し、①生活習慣形成のための生活自立支援、②就労の前段として必要な社会的能力の習得のための社会的自立支援、③一般就労のための基礎能力を身につける就労自立支援等、段階に応じた支援を行った。

①相談内容

利用件数は延 149名 360件。資産や収入等利用要件に該当しない場合や、他の制度につなぐことが多いため、就労準備支援プログラム作成件数は4件と少なかったが、外出し他者との会話ができるまで、継続的に訪問や電話、手紙でやり取りをする等、じっくり時間をかけ支援を行っている。

②就労体験先確保

本会の学童保育所やデイサービスと連携し、就労体験を実施した。また就労支援の入り口としてキャロットサービスで行う草取りや家事支援などとも連携した「キャロット DE 就労体験」を実施している。また、障がい者等の就労支援機関とも会議を持ち就労体験先の確保に努めた。

No.	就労体験先名	体験内容
1	大牟田市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・キャロットサービス同行 ・デイサービス補助業務 ・事務作業等 ・学童保育所支援員補助業務
2	キリスト者奉仕会	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング業 ・タオル製造業 ・調理等
3	あけぼの会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の掃除や電球の交換 ・入所者の洗濯 ・施設まわりの草取り
4	ホワイト急便	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング工場 ・じゅうたん工場 ・接客等
5	ヤヨイサンフーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・食品加工工場業務
6	大塚食品	<ul style="list-style-type: none"> ・きのこ製造業
7	エフコープ	<ul style="list-style-type: none"> ・配送、倉庫内業務
8	イオン九州	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業
9	フェローズ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンター

③ おおむた就労支援ネットワーク会議への参画

高齢者、障がい者、若者やひきこもり等のそれぞれの分野で就労支援を実施している機関が就労体験先の相互協力やスキルアップを目的とした「おおむた就労支援ネットワーク会議」を立ち上げ、その事務局員として参画している。



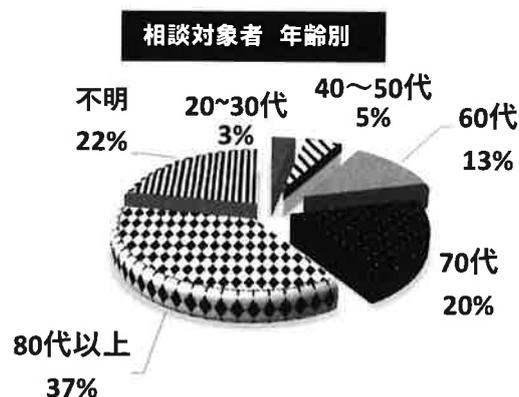
おおむた就労支援NW設立会議

(2) 大牟田市成年後見センター運営事業(市受託事業)

大牟田市成年後見センター（以下「センター」という。）は、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を擁護し、支援するための法制度である成年後見制度の利用促進を図るとともに、市民後見人の養成・活用を行うことで、地域でその人らしく安心して暮らせるよう支援することを目的にセンター運営事業を実施した。 ※令和2年3月末 市民後見人登録数 44名

① 成年後見制度の利用や権利擁護に関する相談・助言及び対応

センターの初回相談者数は123件（実人数）。相談対象者、相談経路、相談内容等別の傾向としては、昨年度と大差ない結果となっているが、「相談対象者」として圧倒的に高齢者が多いものの、知的障がいや精神障がいのある方の相談が昨年度に比べて増加している。また、初回相談数のうち、初回のみで終結62件、継続支援61件で、継続支援の延回数 は257回となった。



② 市民後見人の養成・登録

成年後見活用講座	
目的	より多くの人々が成年後見制度を学び、活用できるようになることで、地域社会における権利擁護の推進を図る。
開催日	①5月14日～5月28日 毎週火曜日（全3回） ②6月14日～6月28日 毎週金曜日（全3回）
場所	総合福祉センター 中会議室
参加者	①受講生27名、修了生24名 ②受講生26名、修了生25名

市民後見人実務養成講座	
目的	地域社会における権利擁護の推進を図るために、市民後見人登録申請及び活動を前提とした人材を養成する。
開催日	8月30日～11月1日 毎週金曜日（全10回）
場所	総合福祉センター 中会議室
参加者	受講生15名、修了生14名

市民後見人実務者講座	
目的	市民後見人登録者の資質の向上と次年度の登録更新における必須の更新研修として開催。
開催日	1月16日
場所	総合福祉センター 大会議室
参加者	受講対象者33名、受講者32名

市民後見人の登録（第7期生の登録）		
目的	本会で受任している被後見人等への支援者として活動する市民後見人登録者を選考・登録する。	
12月6日	令和元年度 市民後見人選考会 選考登録部会	参加者：13名 登録可：11名
1月24日	市民後見人登録手続き 締切	登録者：11名

③ 市民後見人活用による法人後見受任及び市民後見人活動の支援

今年度は新たに8件法人受任し、財産管理や市民後見人による訪問等の支援を行った。

法人後見受任	
総受任件数	75件(後見54、保佐17、補助4)
実働件数	43件(後見30、保佐10、補助3)
死亡件数	32件(後見24、保佐7、補助1)

市民後見人活動	
活動件数	22件
活動人数	18名

④ 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

実施日	申込者・対象者	参加者数
5月15日	申込：大牟田医師会在宅ケアセンター 対象：法人職員	37名
6月3日	申込：小規模多機能わたぜ 対象：法人職員	19名
6月27日	申込：大牟田恵愛園 対象：法人職員	25名
8月27日	申込：みやま市役所 対象：市職員、相談支援事業所職員	13名
10月16日	申込：社会福祉協議会（福祉サービス職員研修） 対象：社協職員・登録ヘルパー	26名
10月25日	申込：青空サロン（大正校区） 対象：サロン参加者	10名
11月2日	申込：佐賀県司法書士会・リーガルサポート 対象：司法書士	35名
11月11日	申込：大牟田市 対象：あんしん介護相談員	6名
12月2日	申込：地域包括支援センター・介護予防相談センター 対象：各職員	30名
12月13日	申込：大牟田南ロータリークラブ 対象：クラブ会員	25名
12月19日	申込：竹の原サロン（羽山台校区） 対象：サロン参加者	15名
2月15日	申込：田川市社会福祉協議会 対象：田川市社会福祉大会参加者	約100名

⑤ 成年後見制度や権利擁護の関係機関との連携

① 事務局として開催

運営管理委員会	センター事業の適正な運営の管理・監督を目的として年2回開催
受任検討委員会	市民後見人の活用を前提に法人受任することの協議を目的として年6回開催
執務管理部会	センターに登録した市民後見人の活動が円滑に実施されるよう監督・指導・助言を目的として年11回開催
成年後見事務連絡会	成年後見制度の円滑な運用を図るため各関係機関が集まり事務手続きを中心に情報共有を目的として年1回開催
成年後見ラウンド会議	成年後見制度の円滑な運用に必要な体制整備についての協議を目的として年3回開催

② 委員または構成メンバーとして出席

大牟田市権利擁護連絡会	権利擁護に関わる支援者間での情報共有及び連携を図ることを目的に年3回出席
地域認知症サポート定例カンファレンス	多職種が集まり多角的な視点で意見交換をすることによって課題整理や今後の支援につなげることを目的に年9回出席

(3) 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

認知症・知的障がい・精神障がいの方のうち判断能力が不十分かつ、契約能力がある方を対象に事業を行った。利用者数としては著しい変化はないが、今年度の新規契約者16名のうち、生活保護受給者が11名となっており、生活保護受給世帯の利用が増加している傾向がみられた。また、現在本事業は身体障がい者は事業の対象外となっているが、地域の単身者・高齢者世帯が増加し「判断能力に問題はないが身体的な理由で日常的な金銭管

理に困っている」と言う相談もあった。そこで、相談支援事業所・病院連携室等へ重度身体障がい者で本事業のサービス利用の必要性についてアンケートを行った結果、一定数のニーズが見込まれることから、次年度は、重度身体障がい者の利用に向けた独自事業を検討していく。その為にも、市民サポーター養成講座及び地域組織等への事業周知・啓発を行い、生活支援員の確保に努めていきたいと考えている。

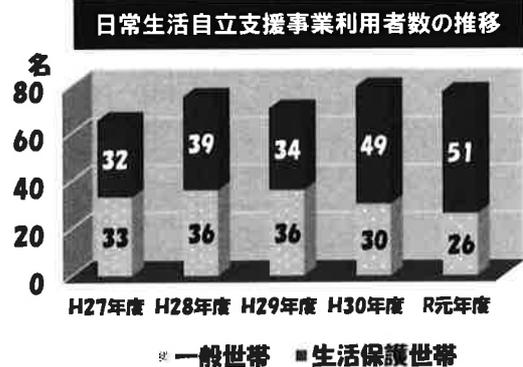
① 生活支援員研修会

開催日	11月29日
実施内容	講義「交通安全・運転マナーについて」「相談援助技術について」
参加者	27名

② 日常生活自立支援事業支援実績

区分	令和元年度
利用者数	77名(51名)
新規契約数	16名(11名)
延べ利用件数	1554件(1123件)
生活支援員	46名

※()は生活保護受給者



(4) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、修学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、ケースによっては民生委員の協力を得ながら、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。今年度は、猛暑による生活保護世帯からのエアコン設置に係る申込件数の増加及び3月末の新型コロナウイルス感染拡大による特例資金設置に伴い、申込件数の大幅な増加が見られた。また、福岡県社会福祉協議会が実施する滞納世帯への訪問に同行し、生活困窮者自立支援事業との連携も行った。

実績件数	相談件数	貸付決定件数	延滞利子支払免除申請件数	償還猶予申請件数
令和元年度	161件	116件	1件	0件
前年度比	128.8%	131.8%	(前年0件)	(前年1件)

(生活福祉資金貸付状況)

(単位：千円)

	H29年度		H30年度		R元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	1	600	3	1,200	2	920
住宅入居費	0	0	0	0	1	220
一時生活再建費	0	0	1	440	0	0
福祉費	7	4,934	7	5,441	10	7,000
福祉費 (生活保護世帯)	11	877	29	2,404	36	2,948
緊急小口	14	1,352	25	2,330	18	1,393
教育支援資金	6	4,601	23	39,336	31	22,536
緊急小口(特例)	-	-	-	-	15	2,550
生活支援費(特例)	-	-	-	-	3	1,148
合計	39	12,364	88	51,151	116	38,715

(5) 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会への参加・連携・協働

「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」とは、市内の社会福祉法人が協働して展開することで、活動に必要な「人材」「資材」「資金」「情報」を共有し、社会福祉法人の地域貢献活動の促進を図ることにより、市内に住む人が抱える制度の狭間にある問題解決に向けた支援（生活困窮者レスキュー事業）及び政策提言を行うことを目的とする協議体である。平成27年5月創設され、令和2年3月末で、27法人が加盟している。

① 主な活動実績

日程	主な活動内容
4月16日	第1回 役員会
4月17日	みなと校区ゴミ屋敷清掃
4月18日	平成30年度監査
4月24日	平成31年度定期総会
5月13日	セブンイレブンジャパンより食料品・日用品寄贈
5月29日	第1回運営委員会
7月1日	社会福祉法人 あらぐさ会加入
7月12日	社会福祉法人 香春町連絡会 講師派遣
8月29日	第2回運営委員会
8月30日	玉川校区福祉座談会
9月27日	佐伯市視察対応
10月8日	ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成講座①
10月15日	第3回運営委員会
10月30日	鹿屋市社協ドライブサロン視察（31日まで）
11月11日	ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成講座②
11月13日	大牟田市人権・同和教育研修協議会
11月15日	ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成講座③
11月28日	ゴミ屋敷に関する研修会及び社福公益協実践報告会
12月11日	白川校区ゴミ屋敷清掃（1日目）及び倉永校区ゴミ屋敷清掃
12月16日	第2回役員会
12月20日	みなと校区ゴミ屋敷清掃
1月14日	白川校区ゴミ屋敷清掃（2日目）
1月15日	室町ケミカルよりマスク寄贈
1月17日	セブンイレブンジャパンより食料品・日用品寄贈
1月21日	大牟田市議会議員（10名）との意見交換会
2月25日	カーブスより食料品寄贈
2月26日	第4回運営委員会
3月6日	子ども支援NW協議会の依頼による臨時休校中の食料提供についての協議
3月9日	臨時休校中の食料提供開始

② 生活困窮者レスキュー事業

① 食料支援

生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして食糧支援を実施。

月別	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	
食材提供	1件	7件	30件	28件	13件	17件	
	7食	18食	60食	296食	100食	86食	
グリーン コープ等	41件	76件	41件	78件	44件	52件	
	980食	2,032食	1,288食	1,874食	1,118食	1,198食	
合計	42件	83件	71件	106件	57件	69件	
	987食	2,050食	1,348食	2,170食	1,218食	1,284食	
月別	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
食材提供	28件	33件	28件	13件	28件	30件	256件
	174食	180食	128食	96食	150食	222食	1,517食
グリーン コープ等	55件	56件	30件	29件	40件	33件	575件
	1,358食	1,324食	440食	768食	588食	454食	13,422食
合計	83件	89件	58件	42件	68件	63件	831件
	1,532食	1,504食	568食	864食	738食	676食	14,939食

※1件あたり、4日程度の食材提供（米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品等）。
グリーンコープ・母子会の食料支援を含めると 合計 831件 14,939食

②日用品支援

生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして日用品の支援を実施。

月 別	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	
日用品提供	1件	7件	13件	4件	3件	3件	
月 別	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
日用品提供	8件	6件	2件	4件	2件	1件	54件

③緊急時の宿泊支援

緊急時の宿泊費の給付支援を行った。

NO	給付資金用途	金 額	泊 数
1	N氏	9,600円	2泊
2	W氏	4,800円	1泊
3	K氏	33,300円	7泊
4	KT氏	5,100円	1泊
5	Y氏	10,200円	2泊
	合 計	63,000円	13泊

④つなぎ資金貸付

NO	つなぎ資金貸付用途	貸付金	貸付残額	備 考
1	公共料金滞納（年金受給までのつなぎ）	14,678円	0円	済
2	教育支援資金立替（生活福祉資金までのつなぎ）	180,000円	0円	済
3	教育支援資金立替（生活保護までのつなぎ）	46,000円	46,000円	滞納
4	生活費支援（ふくおかライフレスキュー給付まで）	55,811円	0円	済
5	生活費支援（給料までのつなぎ）	10,000円	0円	済
6	生活費支援（再就職までのつなぎ）	70,000円	0円	済
7	生活費支援（年金までのつなぎ）	45,000円	45,000円	滞納
8	生活費支援（保護費までのつなぎ）	2,000円	0円	済
9	公共料金立替（生活保護までのつなぎ）	3,445円	0円	済
10	公共料金立替（生活保護までのつなぎ）	4,715円	0円	済
11	公共料金立替（高額療養費返還金までのつなぎ）	5,917円	0円	済
12	生活費支援（生活福祉資金までのつなぎ）	100,000円	100,000円	滞納
13	公共料金立替（年金までのつなぎ）	4,044円	0円	済
14	公共料金立替（保護費までのつなぎ）	4,435円	0円	済
15	エアコン代立替（生活福祉資金までのつなぎ）	60,000円	0円	済
16	エアコン代立替（生活福祉資金までのつなぎ）	60,000円	0円	済
17	公共料金立替（給料までのつなぎ）	17,068円	0円	済
18	エアコン代立替（生活福祉資金までのつなぎ）	93,000円	0円	済
19	エアコン代立替（生活福祉資金までのつなぎ）	91,000円	0円	済
20	エアコン代立替（生活福祉資金までのつなぎ）	83,000円	0円	済
21	公共料金立替（年金までのつなぎ）	4,660円	0円	済
22	書類代・生活費支援（生活福祉資金までのつなぎ）	22,730円	22,730円	滞納
23	公共料金立替（年金受給までのつなぎ）	7,404円	0円	済
24	公共料金立替（生活保護までのつなぎ）	3,565円	0円	済
25	生活費支援（年金までのつなぎ）	10,000円	0円	済
26	公共料金立替・生活費支援（給料までのつなぎ）	25,000円	20,000円	返済中
27	公共料金立替（給料までのつなぎ）	22,150円	0円	済
28	公共料金立替（生活保護までのつなぎ）	4,547円	4,547円	未到来
29	公共料金立替（年金までのつなぎ）	9,540円	0円	済
30	公共料金立替（年金までのつなぎ）	5,349円	5,349円	未到来
31	生活費支援（生活保護までのつなぎ）	10,000円	0円	済
32	公共料金立替（生活保護までのつなぎ）	7,170円	0円	済
33	公共料金立替（年金までのつなぎ）	5,954円	5,954円	未到来
	合 計	1,088,182円	249,580円	

⑤ ゴミ屋敷と呼ばれる家（以下「ゴミ屋敷」）清掃活動

校 区	実 施 日	参加人数
みなと校区	4月17日	26名
白川校区（1回目）	12月11日	51名
倉永校区	12月11日	11名
みなと校区	12月20日	23名
白川校区（2回目）	1月14日	63名



⑥ シェルター（一時避難や住居が決まるまでの居住地として設定）

住居を喪失した生活困窮者に対して、生活保護申請から受給し、住まいを決定するまでの間や、やむを得ない事情により生活を再建するまでの間、社会福祉法人の物件を短期間、無償貸与、光熱水費についても法人にて負担などの地域貢献事業を展開している。食料支援は並行して実施。あけぼの会所有。

【シェルター利用状況】

NO	使用者名	日 数
1	N氏	9泊
2	M氏	9泊
3	K氏	16泊
4	Y氏	2泊
合 計		36泊

③ 臨時休校中における食料支援及び見守り活動

新型コロナウイルス対策による臨時休校中に「食に困るかつ見守りが必要な子供たち」への食糧支援の依頼を大牟田市子ども支援ネットワーク協議会から依頼があり、実施した。

【実施期間】3月9日～3月24日（11日間）

【実施食数】弁当248食、パン178食

※その他、特に必要な家庭については春休み中（5日間：15食）も継続して食料支援を行った。（別掲P46）



大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 参加法人名（主な施設）

① 東翔会（サンフレンズ）	⑮ 聖光園（上官保育園）
② 福因寺福祉会（延寿苑）	⑯ 久福木福祉会（久福木の森保育園）
③ それいゆ（こもれび）	⑰ 小鳩福祉会（小鳩保育園）
④ グッドタイムズ（サンホリデー）	⑱ 甘木山学園（甘木山学園）
⑤ 大牟田市福祉事業協会（昌普久苑）	⑲ 三川福祉会（竹の子保育園）
⑥ 恩賜財団済生会（ライフケア院）	⑳ 白鷺福祉会（白鷺保育園）
⑦ 博愛福祉会（吉野園）	㉑ 萩尾福祉会（萩尾保育園）
⑧ 原交会福祉会（サン久福木）	㉒ 依修多羅福祉会（三池保育園）
⑨ けんこう（美さと）	㉓ みずほ保育園（みずほ保育園）
⑩ 天光会（天光園）	㉔ しらぬい福祉会（不知火保育園）
⑪ キリスト者奉仕会（大牟田恵愛園）	㉕ 輝の子福祉会（草木保育園）
⑫ あけぼの会（あけぼの苑）	㉖ あらぐさ会（高取保育園）
⑬ 日本厚生学園（りんどう学園）	㉗ 大牟田市社会福祉協議会
⑭ 地域福祉を考える会（エンゼル）	

(6) 大牟田市居住支援協議会活動支援事業

(国交省:重層的住宅セーフティネット構築支援事業補助)

地域資源としての空き家の活用と住宅確保要配慮者の円滑な入居促進及び安心して暮らせる仕組みづくりを推進するため、事務局として不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携して取り組んだ。

① 相談・支援体制の充実

空き家所有者及び入居希望者の相談対応を行った。

相談件数：87件（入居相談：58件・建物相談：15件・その他：14件）

② 入居支援の実施及び空き家活用の促進

所有者より物件提供があった空き家を活用し、住宅確保要配慮者の入居マッチングを実施した。 契約件数：1件（低所得世帯1件）

③ 居住支援協議会のあり方検討に関する調査研究の実施

居住支援協議会が果たすべき役割を明確にし、専門性を活かした支援の実施に繋げるため、福山平成大学福祉健康学部福祉学科と連携し、全国の市区町村居住支援協議会を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

【調査期間】令和元年10月～令和2年1月



④ 定期的な相談会の実施・住まいに関するセミナーの開催

① 空き家活用無料相談会の開催（年2回）

【開催日】8月11日

【相談件数】15件

【会場】総合福祉センター 大会議室

【開催日】1月19日

【相談件数】12件

【会場】労働福祉会館 中ホール



空き家無料相談会

② 「住まいと住まい方（暮らし）を考えるセミナーin おおむた」の開催

「住まいの確保」と「住まい方の支援（暮らし）」の必要性及び空き家が住まいとして活用できる可能性や空き家に関する大牟田の取組み事例を紹介し、今後のまちづくりに繋がることを知るきっかけにしてもらうことを目的に開催した。

【開催日】12月21日

【会場】イオンホール（イオンモール大牟田）

【参加者】40名



セミナーin おおむたの様子

(7) 知的障がい児・者医療支援プロジェクトへの参加・連携・協働

発達障がいや知的障がいのある方のスムーズな医療受診を目指し、発足された本プロジェクトでは、医療機関との連携強化、教育委員会との連携強化、当事者家族への周知・啓発、医療支援手帳・絵カード等の活用、大牟田市障害者計画策定へ参画するなど、障がい児・者への医療支援に対し積極的に取り組んでいる。今年度は、医療支援の在り方や医療支援の手帳の活用が円滑に進むように、当事者や関係機関との意見交換を中心に行った。今後も医療機関や教育委員会など関係機関の連携を図ることで、当事者も含めた医療支援手帳の周知と活用を進めていく。



大牟田市特別支援学校
救急車体験の様子

(8) おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議への参加・連携・協働

① おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議

市内6校区の子ども・地域食堂関係者、社会福祉法人甘木山学園、本会等が連携し、「おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議」（事務局：社会福祉法人甘木山学園）を開催した。今年度のおおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議では、各食堂の活動内容の報告会を実施した。また、社会福祉法人甘木山学園より6校区の子ども・地域食堂に対し運営助成金をいただいた。



おおむた子ども・地域食堂
ネットワーク会議

おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議

開催日	9月30日
参加団体	大牟田中央校区子ども食堂、大正校区子ども食堂、高取ふれあい子ども食堂、吉野ふれあい食堂、平原ふれあいサロン食堂、はやめカップ食堂、社会福祉法人甘木山学園、大牟田市社会福祉協議会

② 子ども・地域食堂の支援

多世代が食を通じて交流できる場として市内6校区の子ども・地域食堂の運営を支援した。具体的には、駛馬校区のはやめカップ食堂の立上げ支援や大牟田中央校区の子ども食堂運営に際し、活動場所の提供の支援を行った。また子ども・地域食堂に活用して欲しいということで、市内外を問わず本会へいただいた野菜や米等の寄贈を各食堂へ配分した。さらに、各校区食堂の活動費として、歳末たすけあい募金助成金を交付した。

【子ども・地域食堂一覧】

(令和2年3月末現在)

校区名	名称	開催時間・場所
大牟田中央	大牟田中央校区子ども食堂	毎月第3土曜日 11:00~13:00 よらんかん
大正	大正校区子ども食堂	毎月第2土曜日 11:00~13:00 大正校区コミュニティセンター
高取	高取ふれあい子ども食堂	毎月第3土曜日 11:00~13:00 米の山ふれあいセンター
吉野	吉野ふれあい食堂	毎月第2土曜日 11:30~13:00 吉野地区公民館
平原	平原ふれあいサロン食堂	毎月第1土曜日 11:30~13:30 総合福祉センター
駛馬	はやめカップ食堂	毎月第4土曜日 11:30~13:00 駛馬地区公民館

(9) 各種相談事業

① 行政書士による法務相談（毎月第3水曜日）

毎月第3水曜日に行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産相続、事故等の相談に親身になって対応し、高度な対処法については無料弁護士相談や関係機関へ橋渡しをした。令和元年度の相談件数は37件であった。

② 福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス等利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合は、「第三者委員会」を設置し、その解決を図ることとしている。

令和元年度は相談依頼がなく、開催していない。

4. 安心して子育てできる環境の整備に努めます。

(1) くぬぎ保育所の運営

保育のさらなる充実に向けて、食育の推進、多世代地域交流、子育て支援の拠点づくりなどを行った。また、障がい児との統合保育では、対象児を積極的に受け入れた。園児一人ひとりの成長に寄り添いながら、仲間を認め、お互いに育ち合う環境を提供することが出来た。また、ここ数年、利用定員を超える園児数と待機園児があり、引き続き利用定員を超える見込みがあったため、平成31年4月より定員90名を100名に変更し、10名増員することで、園児の受け入れ体制を整備した。年度当初、園児数111名でスタートし、年度末には122名の園児が在籍した。



のびのび育てくぬぎっ子

【四半期ごとの園児数】

(単位：名)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
6月	10	23	20	22	23	20	118
9月	11	23	22	22	23	20	121
12月	12	23	22	22	23	20	122
3月	12	23	22	22	23	20	122

① 主な行事内容

実施月日	行事内容	実施月日	行事内容
4月 6日	入園・進級式	8月 24日	親子ふれあいバザー
4月 12日	3.4.5歳児遠足	10月 12日	②運動会
6月 11日	プール開き	10月 28日	稲刈り
6月 29日	親子みそ作り	12月 6日	お餅つき
7月 3日	田植え体験	12月 21日	クリスマス会
7月 13日～14日	①年長お泊り保育体験	3月 6日	お別れ遠足
7月 26日～27日	お祭りごっこ ちびっこ総踊り	3月 20日	③卒園式・リズム修了式

①年長お泊り保育体験（キャンプ）

毎年、年長児を対象に1泊2日で、親元を離れての宿泊体験（キャンプ）を実施している。夕食作りやすいか割り・お化け屋敷にも挑み、園児達にとって大きな成長を見せてくれた2日間となった。



お泊り保育体験（キャンプ）

②運動会

運動会は、保育所における一大イベントの一つで、子どもの成長した姿を家族の前で披露できる絶好の機会。日頃の保育で培った力を園庭の大舞台上で堂々と披露し、0歳児から5歳児までの園児が、自分のありのままの姿を表現することが出来た。



運動会の様子

③卒園式・リズム修了式

新型コロナウイルス感染予防対策で例年より内容を縮小して開催した。限られた時間の中ではあったが、卒園証書を授与することができ、0歳児からリズム運動を経験し積み上げてきた力を十分に発表出来た式となった。



卒園証書授与式

② 食育の推進

安全な食材でバランスの良い食事を提供すると共に、みそ作り、田植え、稲刈り等、「食」に関心が持てるような活動を積極的に取り入れ、経験を通して「食」の大切さを園児たちに伝えた。また、年に1度行う保育参観・給食試食会では、園で日頃から提供している野菜中心で栄養価の高い食事を保護者にも試食してもらい、「食」の大切さを伝えた。



年長児の田植え体験

③ 子育て支援の拠点づくり

未就園児を対象とした園庭開放「どんぐりクラブ」では、体験保育や給食試食を通して、園児との交流を図り、保護者から育児相談を受けるなど、保育園との信頼関係を構築する場となった。また、多世代との地域交流も積極的に取り入れ、核家族の中で育つ園児達にとって、高齢者の方とのふれあいは、優しさを感じることができた貴重な体験となった。

【どんぐりクラブ（園庭開放）参加人数】

月	参加者数	体験内容
5月	15名(6組)	リズム遊び
6月	6名(2組)	どろんこ遊び
7月	21名(9組)	たなばた祭り
8月	15名(7組)	プール遊び
9月	18名(8組)	お絵かき遊び
11月	22名(10組)	お散歩
1月	18名(9組)	お正月遊び
2月	20名(10組)	リズム遊び



施設訪問での交流



どんぐりクラブ絵本の読み聞かせ

④ 保育料無償化に伴う対応

令和元年10月より幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、対象となる園児の副食費については保護者負担となり、事業所が徴収することとなった。そこで、改めて給食費（主食費および副食費）の金額を設定し、運営規程を一部改正した。

(2) 放課後児童健全育成事業等の実施(市受託事業)

① 学童保育所運営(三池・高取・白川【第1】・白川【第2】・大牟田中央)

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所・クラブにおいては、地域組織等と連携し様々な多世代間交流事業を実施した。

学童保育所名	三池	高取	白川【第1】	白川【第2】	大牟田中央	合計
児童数(名)	36	19	31	34	43	163

(令和2年3月31日現在)



陶芸教室の様子



防犯教室の様子



クリスマス会の様子

② 支援員の研修受講

毎月の支援員会議での運営状況報告・事例検討をはじめ、救急救命講習・障がい児研修・保護者対応の研修など、より良い支援のための研修会を実施した。

さらに、支援員のスキルアップを目的として、様々な研修に積極的に参加した。

【主な研修内容】

実施日	内 容	参加者
6月11日	救急救命講習会	16名
6月23日	第44回福岡県学童保育指導員学校	1名
10月20日	大牟田における学童保育所の歩み	19名
10月19日 ~20日	第54回全国学童保育研究集会in京都	1名
11月4日	令和元年度放課後児童支援員資質向上研修	1名
11月21日	令和元年度全体支援員研修(防犯教室)	12名
12月4日	子どもの食物アレルギー研修	2名
12月13日	子どもの救急救命・アレルギー研修	1名
1月20日	令和元年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	1名
1月27日	令和元年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	1名
2月9日	令和元年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	1名
2月16日	令和元年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	1名

③ 主な行事内容

① 学童っ子のつどい

本会が運営する学童保育所・クラブに通う児童との交流を通し、他学童の児童とのふれあいや親子の絆を深めるとともに保護者間の交流を目的として10月26日に実施した。諏訪公園での開催も今年で10回目を迎え、児童・保護者・兄弟姉妹、約180名が混合チームをつくり、クイズやゲームを楽しんだ。



② 野菜づくり

子どもたちに、「食」への関心を持てるような活動の一環として、各学童で、きゅうりやプチトマト、じゃがいも、さつまいもなどの野菜作りに取り組んだ。自分たちで育てた野菜を収穫し、食べることで、たくさんの学びや喜びがあった。



さつまいもの収穫

(3) 大牟田市ファミリー・サポート・センター事業運営(市受託事業)

子育ての手伝いをしたい人(協力・相互会員)と子育ての手助けをしてほしい人(利用会員)との相互援助活動(コーディネート)を行うとともに、協力・相互会員養成講座の実施や交流会を行った。また様々な機会を通じて事業の周知啓発に努めた。

① 会員の登録及び活動

定期的な習い事や学童保育所への送迎、ひとり親家庭や障がいのある子どもを持つ利用会員の相談を受け援助に努めた。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため3月に学校が休校となったため、昨年度よりも実利用件数は若干減少したが、年間を通じて安全に子どもの援助を行った。

区分	登録会員数	前年度比	依頼件数(内キャンセル数)
利用会員	664名	104%	1,249回(205回) 前年度比: 103%
協力会員	114名	99%	
相互会員	40名	111%	
合計	818名	104%	

② 協力・相互会員養成講座の実施

協力・相互会員養成講座を2回開催。第1回目は、ファミリー・サポート・センター協力会員とキャロットサービス協力会員、日常生活自立支援事業の生活支援員の養成を「市民サポーター養成講座」として行い、第2回目は、「子育てサポーター養成講座」として、つどいの広場のサポーターの養成を兼ねて開催した。



協力会員養成講座の様子

実施日（回数）	会員養成講座	新規登録者数
8月20日～9月17日 （全7回）	協力会員養成講座 （市民サポーター養成講座として開催）	協力会員：5名 相互会員：2名
1月28日～2月20日 （全6回）	協力会員養成講座 （子育てサポーター養成講座として開催）	協力会員：5名 相互会員：2名

③ ステップアップ講座の実施

活動中の協力・相互会員が安全な援助が行えるように、子どもの安全に関する講座やAEDを用いた救急救命講習を行った。

実施日	内 容	受講者数
9月10日	子どもにおこりやすい事故と予防	11名
9月12日	普通救命法・心肺蘇生法・AEDの使い方	13名
2月4日	子どもにおこりやすい事故と予防	3名
2月6日	乳幼児の心肺蘇生法・AEDの使い方	4名

④ 交流会の実施

福岡の市民グループ「備災ママスターズ福岡」を講師に招き、会員とつどいの広場の利用者が参加し、子育て中の保護者の災害時の心構えを学んだ。また、もちつき交流会を開催し、多くの会員と子ども達がもちつきを楽しみながら交流を深めた。



防災ママカフェの様子

実施日	内 容	参加者数
10月5日	「防災ママカフェ」	40名（大人22名・高校生2名・子ども16名）
11月30日	「もちつき交流会」	46名（大人27名・子ども19名）

（4）大牟田市地域子育て支援拠点事業・つどいの広場事業運営（市受託事業）

大牟田市市民活動等多目的交流施設である内の「つどいの広場」において、3歳以下の子どもとその保護者が気軽に集い交流できるような雰囲気作りを行い、子育て中の親の悩みごとや困りごとの相談に対応しながら、子育てへの負担感の緩和に努めた。発達障害やグレーゾーンといわれる子どもが増えてきた為、気になる親子については、早い段階から専門機関につなげサポートすることができた。また、子育て講座、親子を対象としたイベントの企画や実施及び子育てサポーター養成講座の実施、周知啓発に努めた。

① 子育て親子の交流の場の提供と交流促進

【利用者の登録・利用状況】

年 度	登録組数	利用組数	大人	子ども	総人数	相談件数
R元年度	653組	4,987組	5,293名	6,069名	11,362名	1,812件
H30年度	749組	5,436組	5,877名	6,633名	12,510名	1,104件
前年比	87%	92%	90%	91%	91%	164%

② 地域の子育て関連情報の提供

「つどいの広場」において、保育所、幼稚園、認定子ども園をはじめ、子育てサークルや遊び場紹介等の関連情報紙の掲示及びチラシ配布を行い、情報の提供に努めた。

③ 子育て支援に関する講習等の実施

月に1～2回子育てに悩む保護者を対象に「子育て講座」を実施し、保護者の育児への悩みを解消し、不安軽減につながるよう努めた。

④ 子育て等に関する相談、援助の実施（つどいの広場アドバイザーの活用）

つどいの広場内での相談や「にこにこ子育て」「栄養士相談」「保健師相談」「歯育て教室」「ベビーマッサージ」などにおいて保育士、栄養士、保健師、歯科衛生士、助産師による相談援助を実施した。

⑤ 子育てサポーターの育成支援の実施

① つどいの広場サポーター活動状況

つどいの広場子育てサポーターは、講座中の託児、各種イベントの協力の他、広報や季節ごとの制作物の手伝いを行った。

年 度	サポーター数	活動件数
R元年度	53名	384回
H30年度	51名	460回
前年比	104%	83%



サポーターの企画による出し物

② つどいの広場サポーター養成講座の実施

「ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座」と合同で行い、5名の受講者と昨年受けられなかった分の講座を受けた2名の合計7名が新規サポーターとして登録を行った。また、現サポーターのステップアップ講座も兼ねて実施した。

期 間	内 容
1月28日～ 2月20日（全6回）	ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座と合同開催

⑥ 親子を対象としたイベントの実施

福岡県の「ふくおか・みんなで家族月間」キャンペーンに合わせて、子育て中の家庭やこれから親になる人たちを対象としたイベント「家族で行こ行こわくわくDay」を開催し、子育ての楽しさや社会全体での子育て支援の大切さを市民に周知した。

また、離乳食の進め方や好き嫌いについて悩む保護者が多いため、食事が親子にとって“楽しく幸せな時間”になるよう「離乳食教室」を月齢別に開催した。

① 家族で行こ行こわくわくDay

年 度	利用組数	大人	子ども	総人数
R元年度	71組	97名	102名	199名
H30年度	71組	104名	101名	205名
前年比	100%	93%	101%	97%



わくわくDayの様子

② 離乳食教室

年 度	利用組数	大人	子ども	総人数
R元年度	48組	51名	47名	98名
H30年度	30組	30名	32名	62名
前年比	160%	170%	147%	158%



離乳食教室の様子

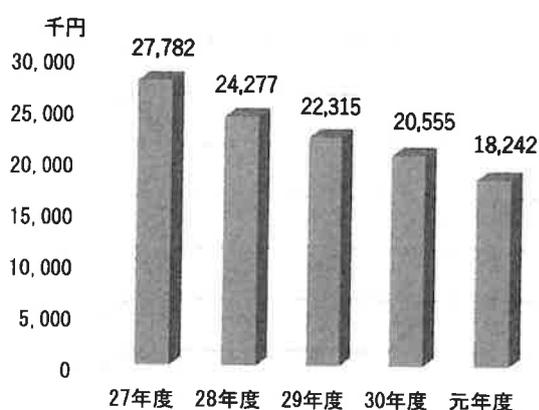
5. いつまでも元気に暮らすために在宅生活を支援します。

(1) 高齢者福祉対策の推進

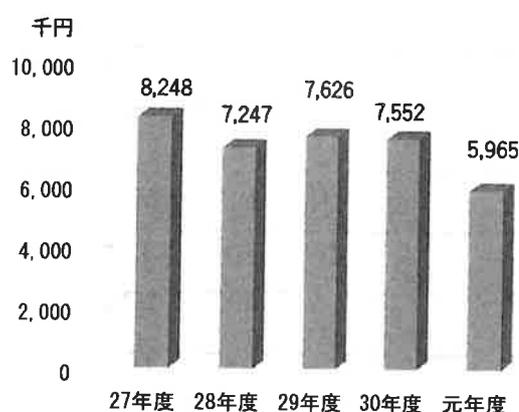
① 介護保険事業の実施

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護支援（ケアプランの作成等）、通所介護（デイサービス）の事業を実施し、事業対象者、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

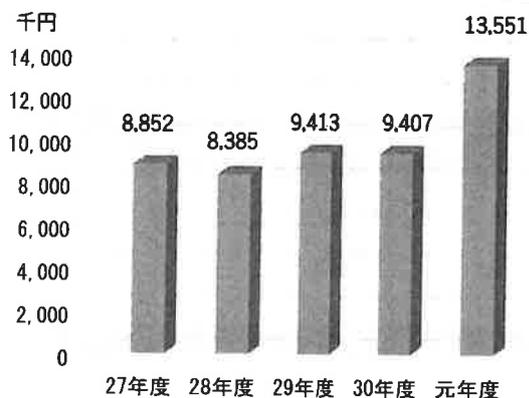
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



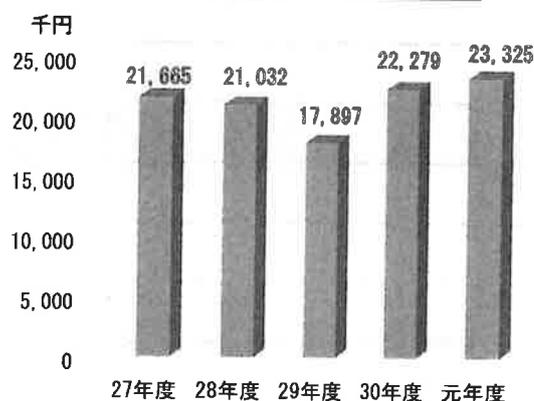
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（ふれあい処える）実績



【令和元年度介護保険事業の総括】

- 訪問介護事業では前年度実績より、延利用件数については90件減、収入面では2,312千円減となった。上半期は、要介護者の逝去や入院、他市町村への転居による利用終了に伴う件数減、下半期は要介護者の件数は伸びたものの、総合事業の施策変更に伴い、要支援者の半数が従来型サービスから基準緩和型サービスへ変更となったため介護予防報酬が月額あたり約25%減少したことも収入減額の要因となった。
- 訪問入浴事業では前年度実績より、延利用件数は124件減、収入面では1,587千円減となった。訪問入浴体験会の開催や、ターミナル期利用者の積極的な受け入れを行い増収を図ったが、利用者の入院・逝去での減少が上回り、収入減となった。
- 居宅介護支援事業では前年度実績より、月平均利用者数は61件で4件減であったが、4月から特定事業所加算を取得し、前年度実績より4,143千円増となった。
- 通所介護（デイサービス）事業では前年度実績より、延利用件数は161件増、収入面では1,046千円増となった。これは、既存利用者の利用日追加や見学会を開催したことで新規利用者増へと繋がった。

※4事業合計として、前年度実績と比較すると1,290千円の収入増となった。

【各年度事業実績】

事業名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
訪問介護サービス	収入(円)	27,782,816	24,277,610	22,315,580	20,555,167	18,242,393
	件数(件)	8,109	7,363	6,866	6,005	5,915
訪問入浴サービス	収入(円)	8,248,060	7,247,680	7,626,040	7,552,172	5,965,084
	件数(件)	647	568	586	580	456
居宅介護支援事業	収入(円)	8,852,290	8,385,220	9,413,660	9,407,690	13,551,380
	件数(件)	867	832	875	897	1,359
通所介護(えいる)	収入(円)	21,665,861	21,032,681	17,897,900	22,278,801	23,325,703
	件数(件)	2,536	2,706	2,362	2,803	2,964
総合計	収入(円)	66,549,027	60,943,191	57,253,180	59,793,830	61,084,560
	件数(件)	12,159	11,469	10,689	10,285	10,694

② 介護予防・相談センターの運営(市受託事業)

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして地域包括支援センターと協働し、介護予防の普及・啓発を目的とした様々な介護予防啓発教室や健康相談の場を設け、地域住民の健康増進に努めた。また、介護認定により要支援と認定された高齢者及び日常生活総合事業対象(一部機能低下が見られる)高齢者に対して、介護予防プラン等を作成し、心身の健康保持や生活の安定のために、関係機関、サービス実施事業者と連携して支援を行った。また地域の民生委員等と同行し訪問相談を実施した。

【各年度事業実績】

事業名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
介護予防・相談センター	収入(円)	6,218,700	5,967,000	5,867,800	6,225,800	4,208,780
	件数(件)	969	904	899	1,029	469

【中央地区地域包括支援センター事業等への協力】

事業内容	開催場所
地域力アップ事業(介護予防事業)	総合福祉センター
絵本教室	白光中学校 白川小学校
認知症サポーター養成講座	総合福祉センター
もの忘れ予防・相談検診	二十日恵比寿 交流センターしらかわ 平原市営住宅 平原公民館 八本町厚生会館 西新町公民館
その他サロン・カフェ等	平原市営住宅 通町市営住宅

③ ホームヘルパー実習受入

日程	実習受入先	受入人数
8月22日~8月23日	九州大谷短期大学	2名

④ 介護支援専門員実務研修実習受入

日程	受入人数
3月18日、3月26日(2日間)	1名

⑤ 福祉サービス全体研修

日程	講師	研修内容	参加者
4月17日	パナソニックエージフリー 小柳貴敬さん	ヒヤリハット・事故防止について	23名
5月22日	市社協介護予防・相談センター 瀬口孝幸	介護予防について・よかば〜い体操	23名
6月19日	中央地区地域包括支援センター 吉田千紘さん	虐待について	18名
7月17日	市社協職員	感染症について	19名
8月21日	市社協職員	緊急時の対応について	17名
9月18日	サンファミリー 田島美穂さん	接遇・マナーについて	22名
10月16日	成年後見センター 竹本安伸	法令遵守・職業倫理について	26名
11月21日	市社協職員	危機管理	21名
12月18日	大牟田警察署	交通安全について	30名
1月15日	市社協職員	認知症について	20名
2月19日	大牟田市役所 防災対策室 藤田健太郎さん	防災対策(災害時の心構え)	18名
3月18日	市社協職員	個人情報保護法	21名

⑥ 「在宅介護者の会」の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。今年度は延9回実施した。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数14名

【目的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、仲間づくりを行うとともに「介護」にかかる課題を共有していくことを目的に実施。

【定例会】毎月第4水曜日

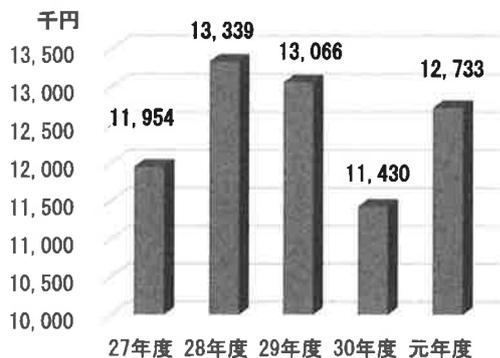
介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、レクリエーションなどを実施。また、年2回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。

(2) 障がい児・者福祉サービス事業の推進

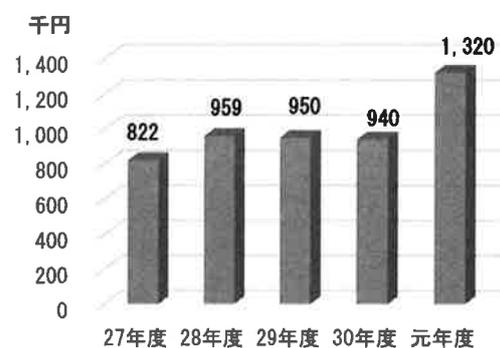
① 障害者自立支援サービス事業

障害区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（家事・通院支援・視覚障害者同行援護）、訪問入浴サービス（入浴車による訪問入浴）事業を実施し、在宅生活を支援した。

障害者居宅サービス事業（家事・同行）実績



障害者訪問入浴サービス事業実績



【令和元年度障害者自立支援サービス事業の総括】

- 居宅サービス事業では、前年度実績より事業件数 168 件増、収入面では 1,303 千円増となった。居宅介護に新規利用者が 1 名増加。さらに同行援護では 10 月から福祉有償運送サービスを開始したことで、既存利用者の利用時間増加につながっている。例年と比較すると、大型台風接近による長時間イベントの中止や新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う会議や趣味活動等の定期利用キャンセルによる給付費減が目立った。
- 障害者入浴サービス事業では、12 月から新規利用者 1 名増 2 名利用になり、前年度実績より 140%増収となった。利用中 2 名ともに週 2 回ペースで、毎月 8~9 回利用された。

※ 2 事業合計として、前年度実績と比較すると 1,682 千円の収入増であった。

【各年度事業実績】

事業名		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
障害者居宅サービス事業	収入 (円)	11,954,138	13,339,880	13,066,420	11,430,560	12,733,010
	件数 (件)	2,118	1,832	1,678	1,642	1,810
障害者移動支援事業	収入 (円)	345,095	0	0	0	0
	件数 (件)	110	0	0	0	0
障害者入浴サービス事業	収入 (円)	822,700	959,500	950,000	940,500	1,320,000
	件数 (件)	87	101	100	99	132
総合計	収入 (円)	13,121,933	14,299,380	14,016,420	12,371,060	14,053,010
	件数 (件)	2,315	1,933	1,778	1,741	1,942

② 福祉有償運送事業の取組み

福祉有償車両（介護タクシー）事業を実施することにより、視覚障害者同行援護サービス利用者の利便性や社会生活の向上を図った。事業実施への取組みを下記のとおり行い、10 月 1 日より開始した。



福祉有償運送事業

【福祉有償運送事業実施への取組み】

実施日	実施事項	内容
6 月 24 日	介護タクシー業務開始届提出	九州運輸局福岡運輸支局へ提出
	自家用自動車有償運送許可申請提出	九州運輸局福岡運輸支局へ提出
7 月 16 日	料金設定認可申請書（介護運賃分）提出	介護運賃分追加に伴う再提出
8 月 26 日	自家用自動車有償運送許可申請再提出	介護運賃分料金設定認可に伴い、九州運輸局福岡運輸支局へ修正分再提出
9 月 24 日	自家用自動車有償運送許可	
10 月 1 日	有償運送サービス事業開始	

6. 地域福祉の推進役を果たすために市社協の基盤を強化します。

(1) 大牟田善意銀行の預託状況

【寄付金等預託状況】

区分	H29年度	H30年度	R元年度
一般寄付（件数）	333件	302件	277件
一般寄付（金額）	6,470,967円	4,930,814円	5,034,779円
物品寄贈件数	28件	14件	20件

(2) 賛助会員加入状況

【賛助会員数等の推移】

区分	H29年度	H30年度	R元年度
会員数（個人）	321名	374名	359名
会員数（企業・団体）	73件	71件	71件
総額	1,158,000円	1,099,357円	1,095,000円

(3) 広報の充実

① ホームページの運営

ホームページの内容の充実や改善を図り、社協及びくぬぎ保育所のホームページにて、行事開催案内や報告など様々な取り組みについて、随時情報提供を行った。

① 社協ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/>)

② くぬぎ保育所ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/kunugi/>)



② 広報紙 社協だより「きらり」の発行

全世帯を対象に、年4回（4月・7月・10月・1月）、社協情報紙「きらり」を発行し、本会の事業活動報告や取り組みなどの情報提供を行った。



③ 事務局通信「きらり」の発行

賛助会員等を対象に、月に1回発行する社協事務局通信「きらり」では、毎月の行事案内や活動報告について情報を提供した。

号	主な内容	号	主な内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ■自閉症への理解を深める ■～新入社員の福祉体験実習～ 三井金属鉱業株式会社三池事務所 ■成年後見活用講座の案内 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回サロン連絡会報告 ■学習支援事業交流会報告 ■赤い羽根共同募金運動について
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 平成30年度活動報告 ■依存症に関する研修会の開催案内 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ■赤い羽根共同募金街頭募金実施報告 ■「おおむた子ども・地域食堂ネットワーク 会議」報告
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■映画「蹴る」チャリティー上映会案内 ■子ども・地域食堂の案内 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■三池浩二さんチャリティーコンサート ■校区社協会会長「つながり」
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■依存症に関する研修会報告 ■新任福祉委員研修会報告 ■居住支援協議会総会報告 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ■新年挨拶 ■第11回大牟田市地域福祉大会開催案内
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■防災イベント開催案内 ■「福祉有償運送サービス」の案内 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ■赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金報告 ■地域リーダー合同研修会報告
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■防災イベント報告 ■多久市災害ボランティアセンターへの 職員派遣報告 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ■第11回大牟田市地域福祉大会報告 ■赤い羽根共同募金配分決定報告（R2年度事業）

(4) 総合福祉センターの運営

① 総合福祉センター利用状況

	H29年度	前年比	H30年度	前年比	R元年度	前年比
会場使用料収入(円) ①	1,318,451	99.7%	1,215,937	92.2%	1,224,427	100.6%
賃貸料収入(円) ②	6,601,789	101.6%	6,546,780	99.1%	6,295,274	96.1%
手数料収入(円) ③	556,189	191.2%	580,180	104.3%	459,855	79.2%
利用収入計(円) (①+②+③)	8,476,429	104.5%	8,342,897	98.4%	7,979,556	95.6%

② 総合消防訓練

本会では、年に2回消防訓練を実施しており、1回目は、9月26日にボランティア連絡協議会との合同による総合消防訓練を行った。1階サロン食堂厨房からの出火を想定した訓練では、詳細を伝えずに抜き打ち的に実施し、その後、はしご車による避難体験を行った。2回目は、2月10日に職員を中心に、避難訓練を行うとともに、消防設備点検を合わせて実施し、訓練後には煙テントによる疑似体験を行った。非常時に、職員一人ひとりがすべての役割（初期消火や通報、避難誘導等）を把握し対応できるよう、今後も強化していく。



(5) 自主避難所の開設

台風接近に伴い、総合福祉センターを自主避難所として延べ3日間開設し、地域の一人暮らしの高齢者などを受け入れた。今後も要配慮者が、災害時等に安心して利用できる場所として提供をしていく。

【自主避難所開設】

	8月6日	8月14日	9月22日	合計
来館者	8名	7名	8名	23名
対応職員数	2名	4名(交代制)	4名(交代制)	10名
開設時間	6:00~15:00	18:00~翌日 14:30	12:00~翌日 8:00	

(6) 福祉バス等貸出事業

福祉団体等の各種大会や研修会等の参加に際し、福祉バスを貸出した。また、福祉行事のための荷物等を運搬する軽トラックの貸出も実施した。福祉バスについては、車輛の老朽化や人材確保等の課題があり、財政面および法令遵守の観点からも事業継続は厳しいと判断し、令和2年3月31日をもって事業廃止となった。今後は、契約バス運行へと形態が変わるため、本会としては斡旋支援を行っていく。

利用状況	H29年度		H30年度		R元年度	
	利用回数	延利用者数	利用回数	延利用者数	利用回数	延利用者数
福祉バス	78回	3,457名	89回	3,256名	59回	1,600名
軽トラック	4回		4回		4回	

(7) 車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい（児）者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延 187 名に無料で車椅子を貸出した。

(8) 職員研修の取組み

① 全体研修

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月26日	生活習慣病について	地方独立行政法人 大牟田市立病院 原口久美さん・新多亜紀さん	62名
7月24日	理想的な社協職員像について	社会福祉法人 筑後わかたけ福祉会 常務理事 中山陽一さん	58名
9月25日	共同募金運動について	社会福祉法人 大牟田市社会福祉協議会 地域福祉担当 永江明美	66名
10月23日	人権同和について	人権・同和教育課 地域活動指導員 徳永英範さん	58名
11月27日	メンタルヘルスについて	医療法人 社団新光会 不知火病院 看護部長 原恭美さん	60名
2月 9日	第11回大牟田市地域福祉大会	大牟田市地域福祉大会実行委員会	69名

② その他の研修

各部署において、職員のスキルアップのため課題別の研修に取り組んだ。

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月15日	依存症に関する研修会	ジャパンマック福岡 統括施設長 岡田昌之さん	8名
11月28日	ゴミ屋敷に関する研修会	岩手県立大学 人間福祉学科 准教授 堀内 聡さん	6名



(9) 視察受入及び講師派遣状況

4月 4日	□三井金属新任職員研修（大牟田市社協・ボランティアセンターの取組み）
5月 15日	■大牟田医師会在宅ケアセンター研修（成年後見制度について）
5月 29日	□小郡市民生委員・児童委員協議会視察（小地域ネットワーク活動・社福公益協の取組み）
6月 7日	□倉吉市社会福祉協議会視察（居住支援協議会の取組み）
8月 23日	■みやま市役所職員研修（成年後見制度について）
8月 27日	□みやま市南校区社会福祉協議会視察（はやめ人情ネットワークについて）
9月 19日	□山口県立大学視察研修（生活困窮者支援・社福公益協の取組み）
9月 27日	□佐伯市地域共生社会推進委員会視察（生活困窮者支援・社福公益協の取組み）
10月 1日	□新宮町議員視察（地域支え合いマップの取組み）
10月 5日	□中津市社会福祉協議会視察（成年後見制度について）
11月 2日	■佐賀県司法書士会・リーガルサポート研修講話（成年後見制度について）
11月 7日	■荒尾市社会福祉協議会研修講話（ボランティアセンターについて）
12月 10日	□対馬市社会福祉協議会視察（大牟田市社協ビジョン・生活支援サービスについて）
12月 12日	□荒尾市社会福祉協議会視察（大牟田市社協ビジョンについて）
12月 13日	■大牟田南ロータリークラブ講話（成年後見制度について）
12月 23日	□みやま市社会福祉協議会視察（大牟田市社協ビジョンについて）
1月 14日	□荒尾市・みやま市社会福祉協議会視察（ゴミ屋敷清掃活動実践について）
1月 20日	□市議会議員研修（8050問題・社福公益協の取組み）
2月 10日	□うきは市社会福祉協議会視察（成年後見制度について）
2月 15日	■田川市社会福祉協議会・田川市社会福祉大会講話（成年後見制度について）
3月 5日	□認定NPO法人抱撲視察（居住支援協議会の取組み） □中間市社会福祉協議会視察（共同募金運動の取組み・福祉教育について）
3月 9日	□筑後市社会福祉協議会視察（大牟田市社協ビジョンについて）

※ □…視察等対応 ■…講師派遣



小郡市民生委員・児童委員協議会視察受入



みやま市南校区社協視察受入

(10) 実習生の受入

① 社会福祉士相談援助実習生の受入

本会が相談援助実習の受け入れを行う意義の一つは福祉人材の育成である。それは社会福祉士取得を目指す学生を育てるだけでなく、職員が事業の意義を再認識することや手法の再検討のきっかけを得ることに繋がると考えている。今年度は夏季に1名、春季に3名を受け入れた。



ふれあいサロン同行訪問の様子

受入期間	【夏季】(24日間) 8月19日～9月19日	【春季】(36日間) 2月3日～3月23日
受入人数	久留米大学 1名	九州看護福祉大学 2月3日～3月4日 2名 2月19日～3月23日 1名
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の役割と事業概要 ・小地域ネットワーク活動 ・住民参加型在宅福祉サービス ・災害ボランティアセンターの取り組み ・地域支え合いマップの取り組み ・社会福祉法人地域公益活動協議会の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度 ・福祉委員の役割 ・介護保険事業サービス ・共同募金運動の概要 ・事例検討 等 	

② 障害者就労・自立支援センターからの実習生受入

障害者就労支援の一環で、職場実習の場として、下記のとおり受け入れた。ジョブコーチ指導のもと、共同募金運動開始の準備に必要な事務作業を行った。

受入期間	①8月19日～8月29日(9日間) ②9月17日～9月27日(8日間)
受入人数	延3名
実習内容	共同募金関係庶務、資料封入等



共同募金事務作業の様子

③ 特別支援学校(高等部)からの実習生の受入

職業体験を目的に、今年度初めて特別支援学校からの実習生を受け入れた。体験を通して、仕事に対する責任やコミュニケーションの必要性等を学び、本人の自信につながった。

受入期間	11月25日～12月6日(10日間)
受入人数	柳河特別支援学校(高等部)1名
実習内容	パソコン入力、チラシ作成・封入作業等



チラシ封入作業の様子

(11) 新型コロナウイルス感染症対策について

① 生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の実施

① 福祉資金(緊急小口資金)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要な世帯を対象としている。

② 総合支援資金(生活支援費)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象としている。

③ 特例貸付相談及び申請状況

	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	計
相談件数	7件	7件	7件	—	—	4件	4件	29件
①緊急小口資金	3件	1件	2件	1件	—	5件	3件	15件
②生活支援費	2件	—	—	1件	—	—	—	3件

② 学校休校中における放課後児童健全育成事業（学童保育所・クラブ）の開所

新型コロナウイルス感染予防のため、小学校が休校となったが、市内の学童保育所及び学童クラブについては、受託元の大牟田市より午前8時30分より18時まで開所の要請があった。これに伴い、学校休校中の3月2日から3月24日までの間、三池・高取・白川学童保育所及び大牟田中央学童クラブについては開所して、新型コロナウイルス感染予防に努めるとともに、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。

③ 新型コロナウイルス感染防止による臨時休校中の食料支援及び見守り活動

大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会は、3月6日、大牟田市子ども支援ネットワーク協議会（大牟田市要保護児童対策地域協議会）より、スクールソーシャルワーカーによるスクリーニングにて抽出された「臨時休校中に食事に困るかつ、見守りが必要な児童」に対して、食料提供の依頼を受けた。それにより、3月9日より、市教育委員会、市子ども家庭課、子ども家庭支援センターあまぎやま、スクールソーシャルワーカー、大牟田市社会福祉協議会で分担し、「弁当・パン」の小中学校への配送活動を実施した。学校での食事の提供（弁当）や訪問による配食（パン）をスクールソーシャルワーカーと教員が行った。

【食料提供期間】3月9日～3月24日（11日間）

【延べ配食数】426食（弁当248食、パン178食）

※その他、特に必要な家庭については春休み中（5日間：15食）も継続して食料支援を行った。

④ 新型コロナウイルス感染症対策による事業の中止及び延期等について

日 程	事 業 等 名	参加予定者	対 応
2月28日	成年後見フォーラム	約130名	中 止
2月29日	災害ボランティア講座	約30名	中 止
3月2日	校区社協会会長会視察研修（福岡市）	約20名	中 止
3月3日～	第2回サロン連絡会（全7回）	約250名	中 止
3月20日	歴木保育所卒園式	約60名	式時短へ変更
3月27日	第4回評議員会	約35名	書面による決議

～ 各種会議・各種委員会報告 ～

会議名	月日	内容
第1回理事会	4月1日	・議案第1号…常務理事の選定について
第2回理事会	6月10日	・議案第2号…平成30年度事業報告について ・議案第3号…平成30年度資金収支決算について 平成30年度監査報告 ・議案第4号…令和元年度補正予算(案)について ・議案第5号…理事および監事候補者の推薦(案)について ・議案第6号…評議員会開催日時(案)について
第3回理事会	6月26日	・議案第7号…会長の選定について ・議案第8号…副会長の選定について ・議案第9号…常務理事の選定について ・議案第10号…顧問の委嘱について ・議案第11号…理事業務担当制部会委員の選出について
第4回理事会 (みなし)	9月24日	・議案第12号…歴木保育所運営規程の一部改正(案)について
第5回理事会	12月4日	・議案第13号…大牟田市権利擁護センター(仮称)開設および開設に伴う総合福祉センターの一部の用途変更(案)について ・議案第14号…福祉バス運行事業について ・議案第15号…大牟田市社会福祉協議会「総合職員就業規則」および「一般職員及び臨時職員就業規則」の一部変更(案)について ・議案第16号…評議員会開催日時(案)について
第6回理事会	2月13日	・議案第17号…評議員選任・解任委員の選任(案)について ・議案第18号…評議員候補者の推薦について ・議案第19号…令和元年度補正予算(案)について ・議案第20号…大牟田市総合福祉センター管理運営規程の一部変更(案)について ・議案第21号…評議員会開催日時(案)について
第7回理事会	3月16日	・議案第22号…令和2年度事業計画(案)について ・議案第23号…令和2年度資金収支予算(案)について ・議案第24号…給与規程および賃金規程の一部改正(案)について ・議案第25号…非常勤職員就業規則の一部改正(案)について ・議案第26号…積立金の目的変更(案)について ・議案第27号…第4回評議員会(みなし評議員会)の開催について

(2) 評議員会開催状況

会議名	月日	内容
第1回評議員会	6月25日	・議案第1号…平成30年度事業報告について ・議案第2号…平成30年度資金収支決算について 平成30年度監査報告 ・議案第3号…令和元年度補正予算(案)について ・議案第4号…理事および監事の選任について
第2回評議員会	12月16日	・議案第5号…大牟田市権利擁護センター(仮称)開設および開設に伴う総合福祉センターの一部の用途変更(案)について ・議案第6号…福祉バス運行事業について
第3回評議員会	2月27日	・議案第7号…令和元年度補正予算(案)について
第4回評議員会 (みなし)	3月25日	・議案第8号…令和2年度事業計画(案)について ・議案第9号…令和2年度資金収支予算(案)について

(3) 各部会・委員会開催状況

会 議 名	月 日	内 容
第1回三役会・ 第1回総務部会 (合同会議)	5月30日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 事業報告について 平成30年度 資金収支決算について 平成30年度 監査報告 理事および監事候補者の推薦(案)について 評議員会開催日時(案)について 会長の選定について 副会長の選定について 常務理事の選定について 顧問の委嘱について 理事業務担当制部会 委員の選出について
第2回三役会・ 第1回経営企画部会 (合同会議)	8月23日	<ul style="list-style-type: none"> 大牟田市権利擁護センター(仮称)について
表彰審査委員会	11月18日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度大牟田市社会福祉協議会表彰審査
第3回三役会・ 第2回経営企画部会 (合同会議)	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> 大牟田市権利擁護センター(仮称)開設および開設に伴う総合福祉センターの用途変更(案)について 福祉バス運行事業について 大牟田市社会福祉協議会「総合職員就業規則」および「一般職員及び臨時職員就業規則」の一部変更(案)について 評議員会開催日時(案)について
第1回評議員 選任・解任委員会	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任について
第4回三役会・ 第2回総務部会 (合同会議)	3月10日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 事業計画(案)について 令和2年度 資金収支予算(案)について 給与規程および賃金規程の一部改正(案)について 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 積立金の目的変更(案)について

令和元年度 役員、評議員、顧問 名簿

【理事・監事】

選出区分	役職名	氏名	備考
学識経験者	会長	川満 佳代子	
校区社協代表	副会長	汐待 律子	
民生委員・児童委員代表	〃	阿津坂 正晴	
学識経験者	常務理事	大迫 孝博	H31.4.1 就任
校区コミュニティ連協代表	理事	芳川 勝	
社会福祉事業施設代表	〃	井田 謙	
福祉団体代表	〃	大場 和正	
ボランティア団体代表	〃	彌永 恵理	R1.6.25 辞任
〃	〃	杉野 有美子	R1.6.25 就任
社会福祉関係公務員代表	〃	岩成 寿美	
市議会代表	〃	島野 知洋	R1.6.25 辞任
〃	〃	桑原 誠	R1.6.25 就任
学識経験者	〃	中村 秀一	
〃	監事	西山 明	
〃	〃	中川 慶道	R1.6.25 辞任
〃	〃	猿渡 保生	R1.6.25 就任

【評議員】

選出区分	役職名	氏名	備考
校区社協代表	評議員	三浦 紀子	
〃	〃	塩塚 國凱	
〃	〃	猿渡 英昭	R2.2.13 辞任
〃	〃	田口 文博	
〃	〃	梶原 純明	R2.2.13 就任
〃	〃	平良 幸雄	R2.2.13 就任
〃	〃	関 廣行	R2.2.13 就任
民生委員・児童委員代表	〃	奥 蘭 繁俊	R2.2.13 辞任
〃	〃	徳永 京子	
〃	〃	塩塚 康尋	R2.2.13 就任
校区コミュニティ連協代表	〃	萬矢 勝保	
ボランティア団体代表	〃	塚本 恵美子	
NPO 法人代表	〃	平田 聖子	
社会福祉事業施設代表	〃	猿渡 保生	R1.6.25 辞任
〃	〃	緒方 莊二郎	
〃	〃	壬生 太	R2.2.13 就任
福祉団体代表	〃	糸原 正則	
〃	〃	西河 マス子	
〃	〃	松尾 サダ子	
社会福祉関係公務員代表	〃	中村 珠美	R2.2.13 辞任
〃	〃	中島 敏信	R2.2.13 就任
市議会代表	〃	三宅 智加子	
学識経験者	〃	池端 祥久	
〃	〃	安藤 謙治	
〃	〃	関 誠	
〃	〃	奥 蘭 征裕	
〃	〃	大塚 力久	

【顧問】

学識経験者	役職名	氏名	備考
前社協会長	顧問	西村 直	

